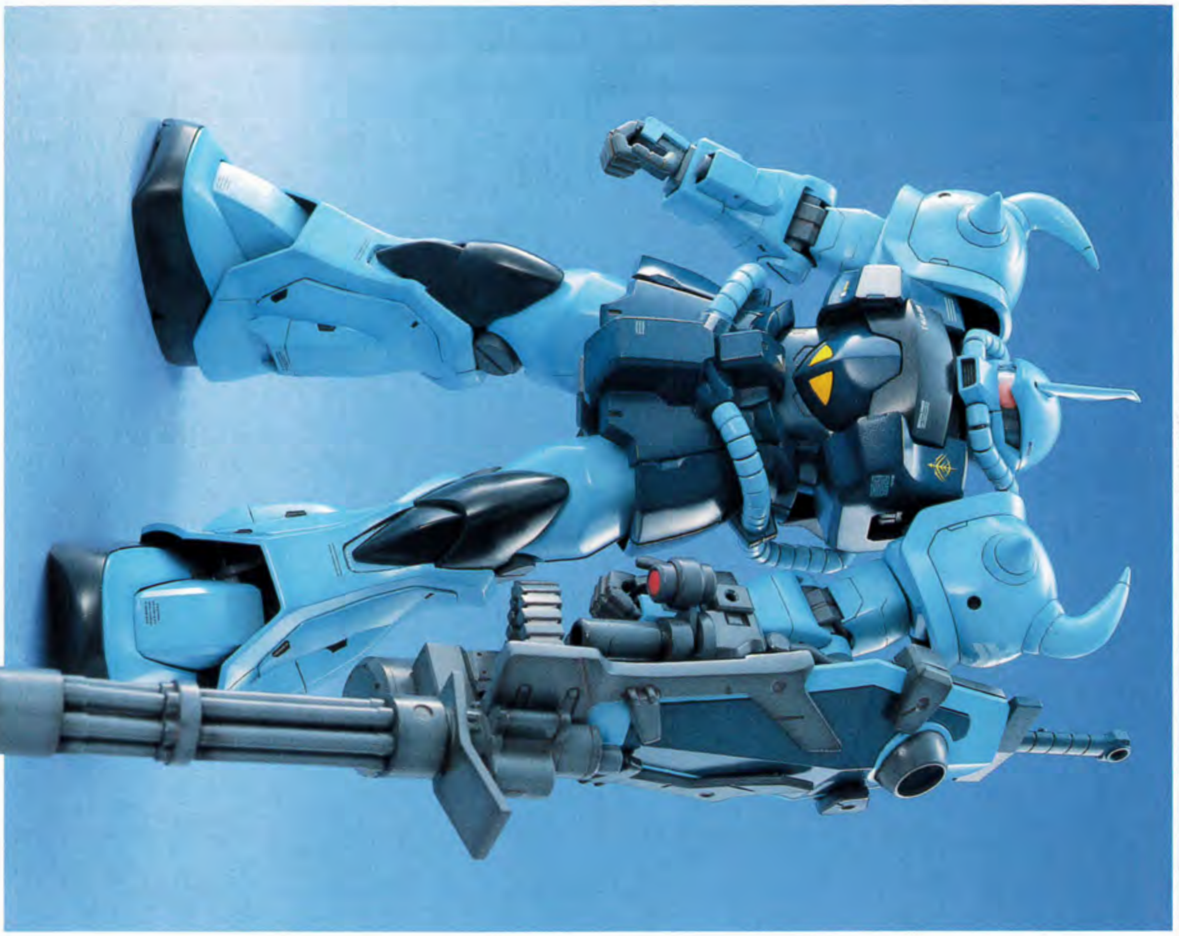
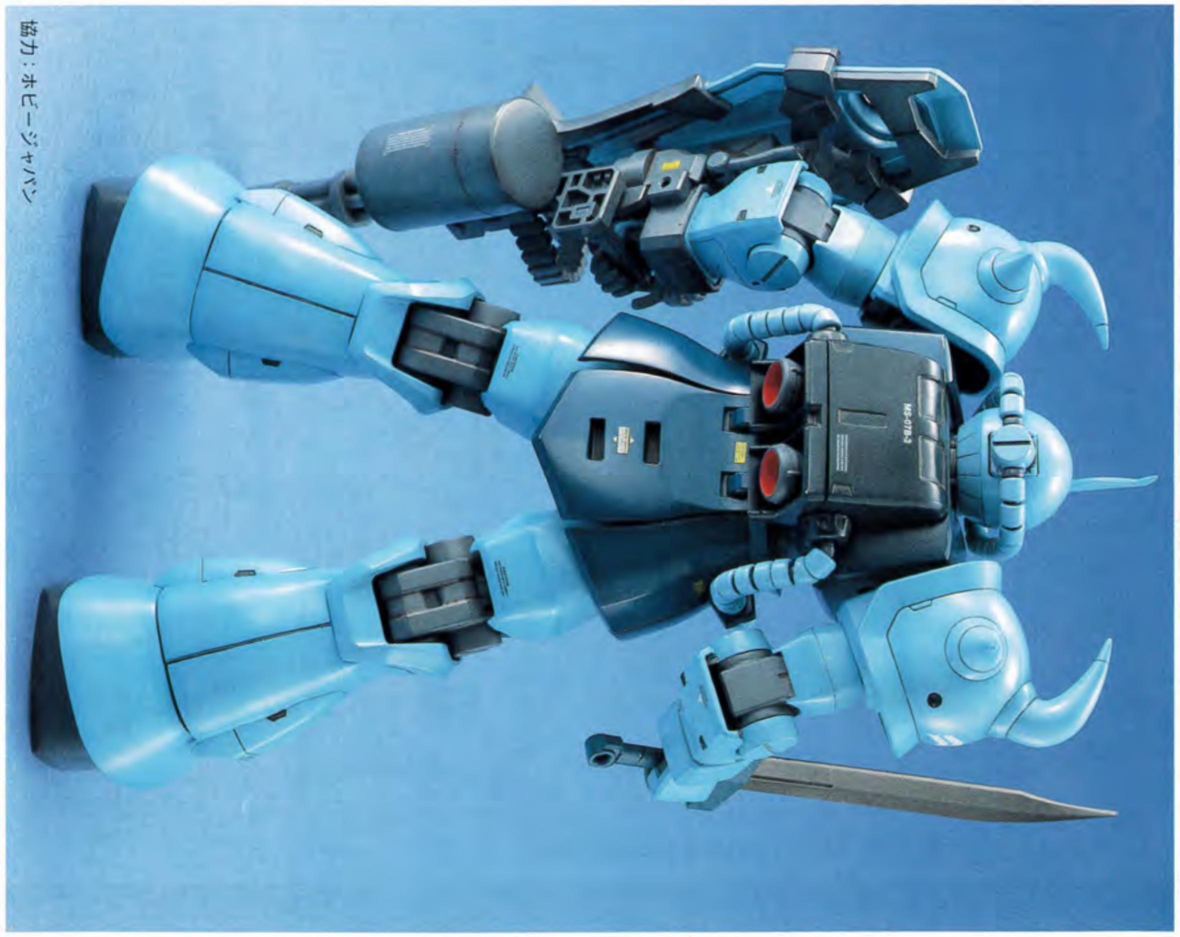
MASTER GRADE

ジオン公国軍陸戦用
量産型モビルスーツ
MS-07B-3「グフカスタム」
1/100 スケール
マスターグレードモデル





協力：ホビージャパン

MS-07B-3 GOUF CUSTOM
PRINCIPALITY OF ZEON PRODUCTIVE LAND BATTLE TYPE MOBILE SUIT

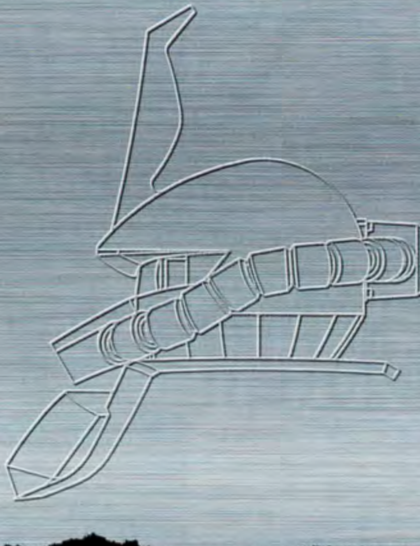
GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイ ホビーサイト ▶ www.bandai-hobby.net/

©創通・サンライズ

MOBILE SUIT
MS-07B-3

GOUF CUSTOM

PRINCIPALITY OF ZEON PRODUCTIVE
LAND BATTLE TYPE MOBILE SUIT



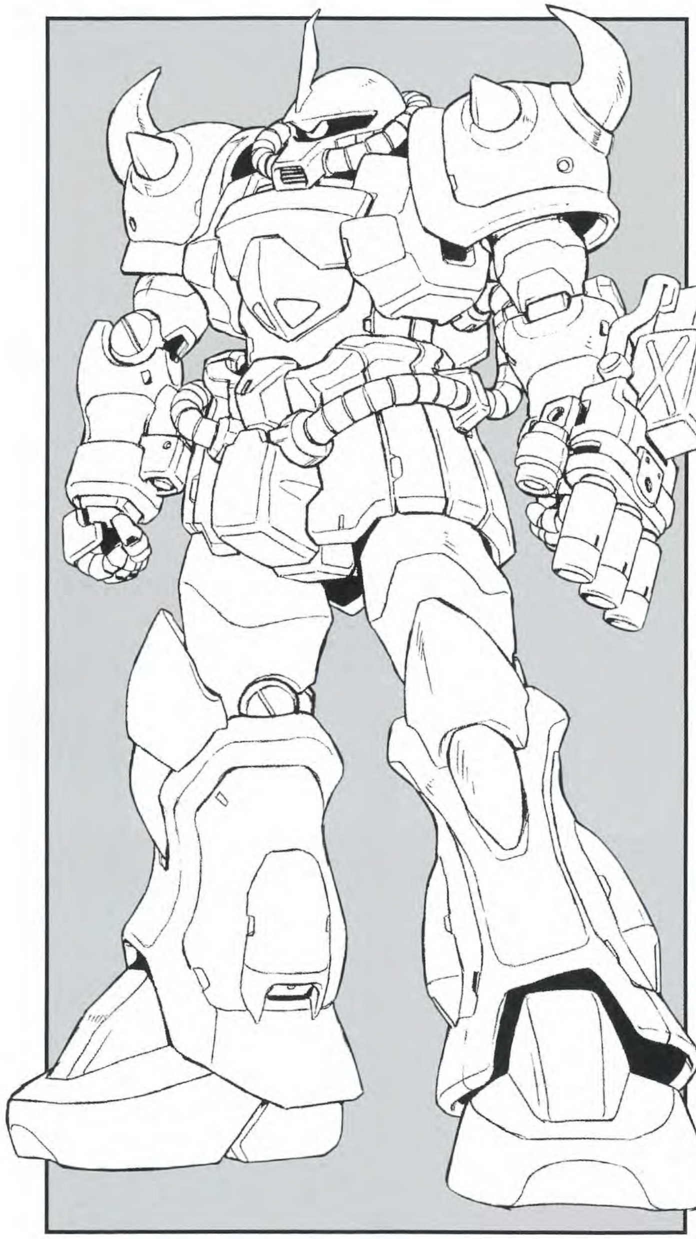
MASTER GRADE

ジオン公国軍陸戦用
量産型モビルスーツ
MS-07B-3「グフカスタム」
1/100 スケール
マスターグレードモデル

BANDAI SPIRITS 2001 MADE IN JAPAN

5061575

BANDAI



MS-07B-3 GOUF CUSTOM

MS-07シリーズ。いわゆる“グフ系”の機体は、06Jタイプに次ぐ陸戦用MSとして開発された。重力下で存分に機能する機動性と、来たるべき対MS戦に備える格闘性能の向上を目的として、装甲を強化、冷却システムが大容量化され、脚部には空間戦闘用のものとは異なる仕様の補助推進システムが搭載された。試作機にはYMS-07のナンバーが与えられ、試験終了後、若干の設計変更を受けて量産化されている。

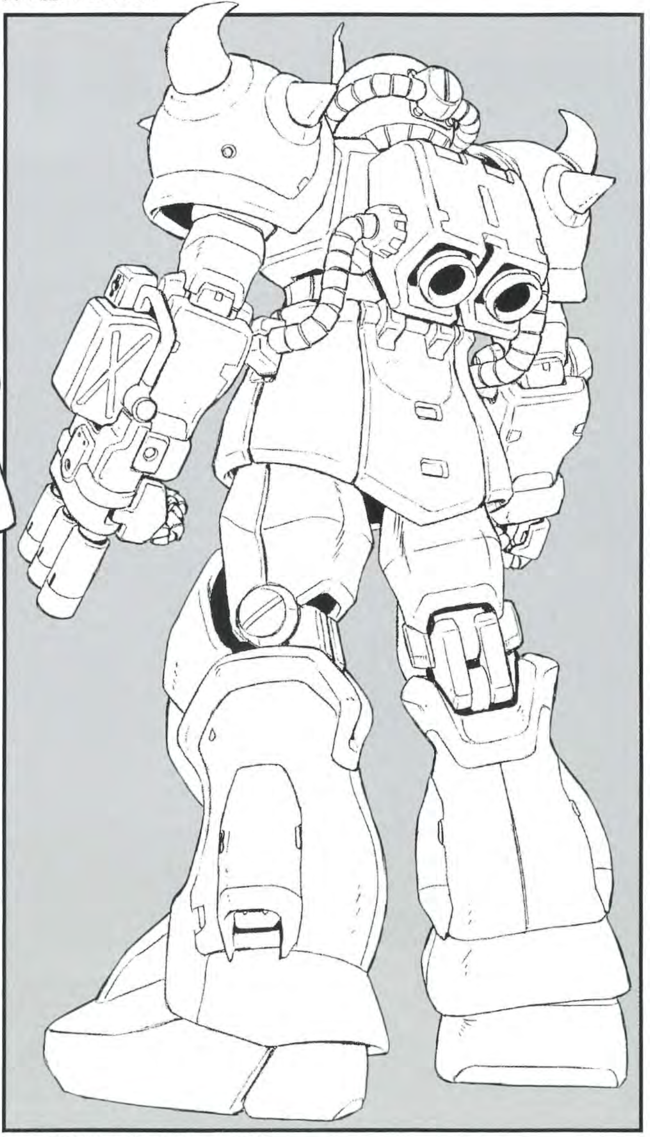
07系の機体は、基本的には06J型の実戦投入で得られたデータをもとに、設計段階から機体の軽量化とともに装甲を強化した機体である。と、同時に“地球環境”に徹底的に適応するためのテストヘッドでもあった。地上における移動力向上のため、開発当初からドダイYSとの連携がオプションとして想定されており、連携用の通信機能強化端末のブレードアンテナが標準装備となっているほか、いわゆる“飛行試験タイプ”のバリエーションも多い。なぜなら、“MSの飛行”こそが、07系における“機体の軽量化”のもうひとつの目的でもあったからである（MS-09ドムが“重MS”となったのは、「面」展開に特化されたからであり、陸戦においてグフとドムに適用される戦術は根本的に異なるものなのである）。

それらの開発に当たっては、MSの生産技術が浸透したこともあって、本格的に“開発”に参与した複数の企業による競争原理が働いたことも大きく作用している（同時期にMS-08系となる予定の機体もジオニックと競合する企業によって競作されていたのである）。

その後、陸戦用MSの開発計画は統廃合され、07系の初期の機体のバックパックなどの基本設計には08系の構造が採用されおり、脚部の動力伝達機構もこの頃に内装されるようになったと言われている。

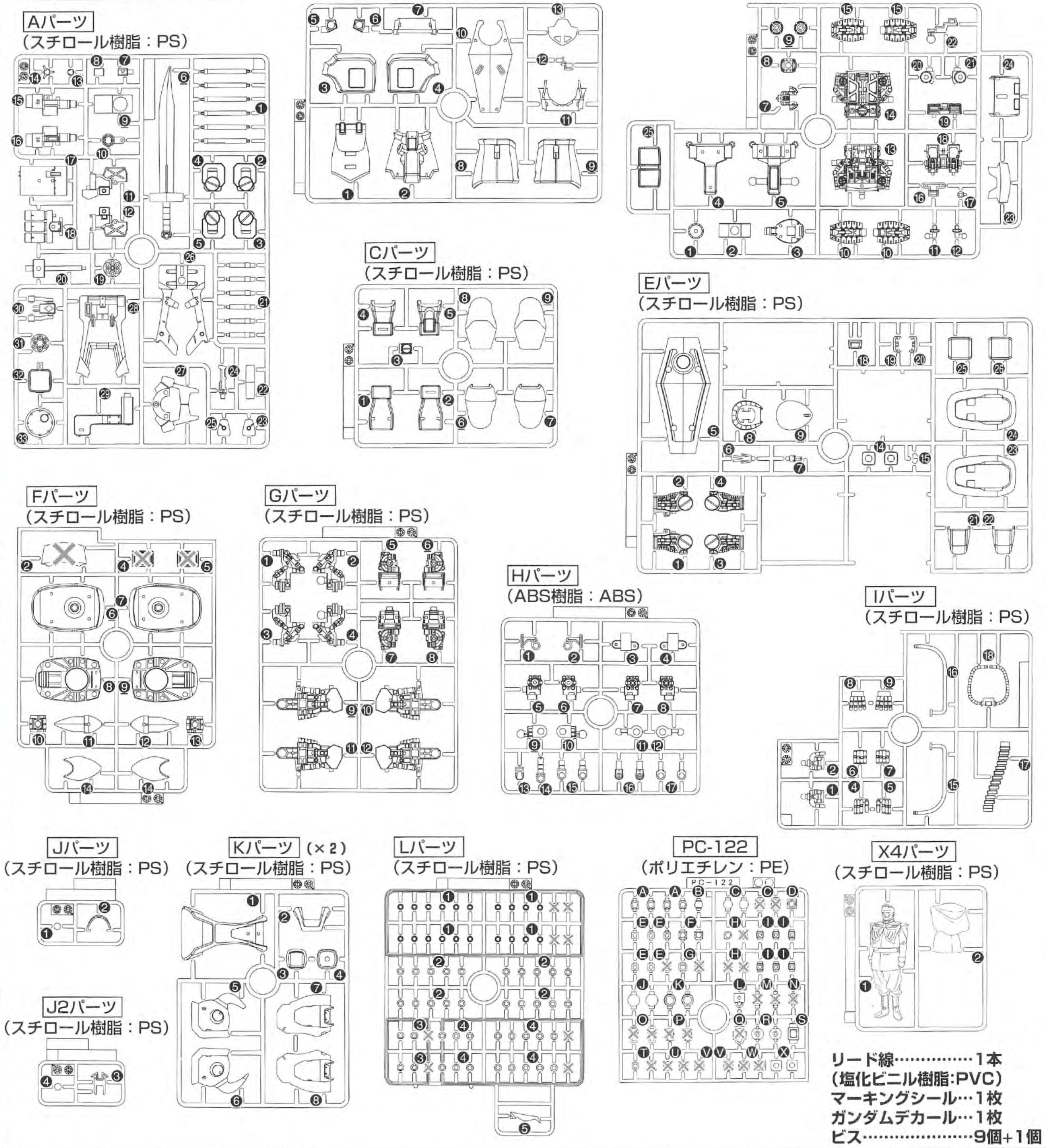
グフ系MSの内、Bタイプに分類される機体は、軽量化によって内部容積に余裕が生まれたため、試作3号機以降は開発段階で設計されていた固定武装を内装し、戦闘力を大幅に向上させた機体となっている。さらに脚部に装備された補助推進システムによって、機動時の初期加速向上や短距離のジャンプを可能としており、量産型はそのタイプを原型としている。

07B系の機体の量産は主にグラナダやキャリフォルニア・ベースでJ型の生産ラインを更新して行われていたが、B3型は、飛行タイプ試作のためジオン本国において再設計及び生産された機体のパーツを多用していると言われ、運動性、機動性共にキャリフォルニアベース純正の機体とは一線を画しており、特に“グフカスタム”と呼ばれることも多い。それは、固定武装のコンセプトの違いにも明確に現れており、右腕のヒート・ロッドは“ムチ”としてではなく“アンカーワイヤー”として、“電磁加熱”による乗員へのダメージよりも“ショックパルス”による敵機の電装の無効化を優先した装備へと換装されている。ただし、この装備も戦闘そのものに活用するには熟練が必要で、本来的な意味で使いこなせた“エース”は決して多くはなかったようだ。また、左腕のマシンガンは、マニピュレーターの基礎構造ごと換装可能となっており、汎用性と整備性に配慮した設計が施されている。



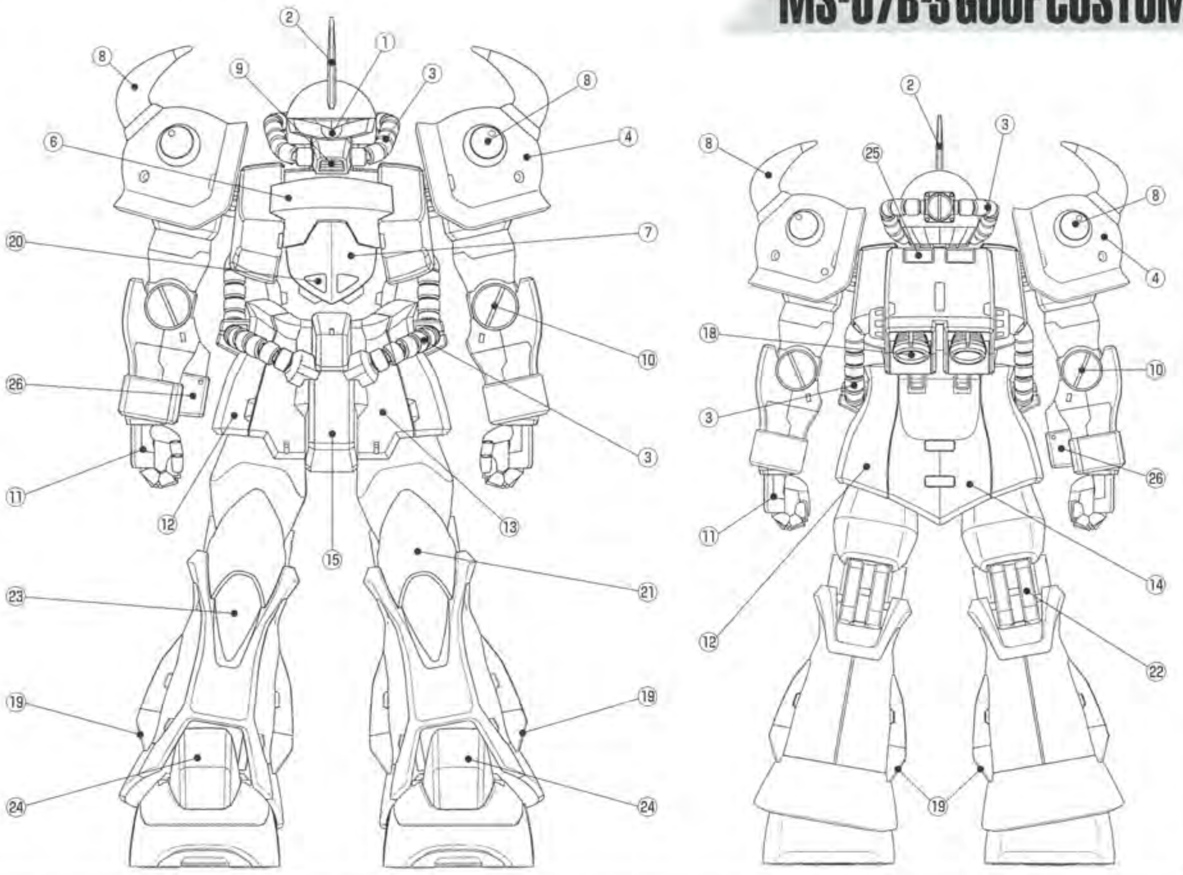
Conceptual illustration : Hajime-Katoki

パーツリスト


Aパーツ
（スチロール樹脂：PS）
Bパーツ
（スチロール樹脂：PS）
Cパーツ
（スチロール樹脂：PS）
Dパーツ
（スチロール樹脂：PS）
Eパーツ
（スチロール樹脂：PS）
Fパーツ
（スチロール樹脂：PS）
Gパーツ
（スチロール樹脂：PS）
Hパーツ
（ABS樹脂：ABS）
Iパーツ
（スチロール樹脂：PS）
Jパーツ
（スチロール樹脂：PS）
J2パーツ
（スチロール樹脂：PS）
Kパーツ（×2）
（スチロール樹脂：PS）
Lパーツ
（スチロール樹脂：PS）
PC-122
（ポリエチレン：PE）
X4パーツ
（スチロール樹脂：PS）

リード線……………1本
（塩化ビニル樹脂:PVC）
マーキングシール…1枚
ガンダムデカール…1枚
ビス……………………9個+1個

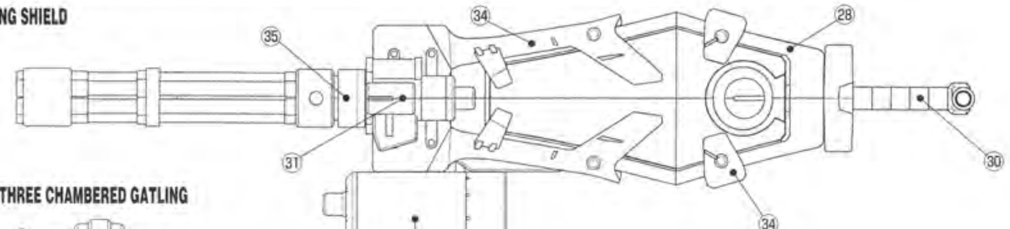
MS-07B-3 GOUF CUSTOM



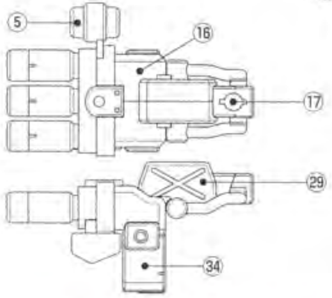
①モノアイカメラ
②マルチブレードアンテナ
③パワーサプライパイプ
④ショルダーアーマー
⑤ナロウレンジセンサー
⑥フロントパネル
⑦コクピットハッチ
⑧スパイク
⑨ダクト
⑩エルボージョイントアーマー
⑪マニピュレーター
⑫サイドスカートアーマー
⑬フロントスカートアーマー
⑭リアスカートアーマー
⑮ラジエーションユニット
⑯3連装35mmガトリング砲
⑰オプションラッチ
⑱メインスラスター
⑲サブスラスター
⑳センサーパネル
㉑ニーアーマー
㉒ニージョイントアーマー
㉓サブセンサーアレイ
㉔アンクルジョイントアーマー
㉕メンテナンスハッチ
㉖ロッドシューター
㉗ヒートロッド
㉘シールド
㉙マガジン
㉚グリップ
㉛75mmガトリング砲
㉜ヒート・ブレード
㉝アンカーヘッド
㉞ホルダー
㉟ローリングバレル

注）MS-07B-3は、U.C.0079年10月下旬以降に東南アジアの公国軍秘密兵器開発基地に配備されたものが確認されている。この機体は、飛行試験型開発のためジオン本国で再設計されたパーツを多用しており、07B系のうち、一年戦争中もっとも後期に生産されたバージョンのひとつである。

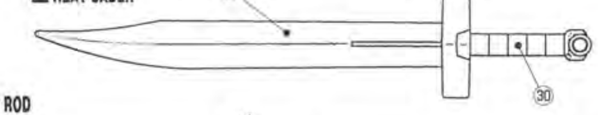
■ GATLING SHIELD



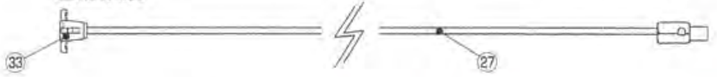
■ 35mmTHREE CHAMBERED GATLING



■ HEAT SABER



■ HEAT ROD



⚠ 注 意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

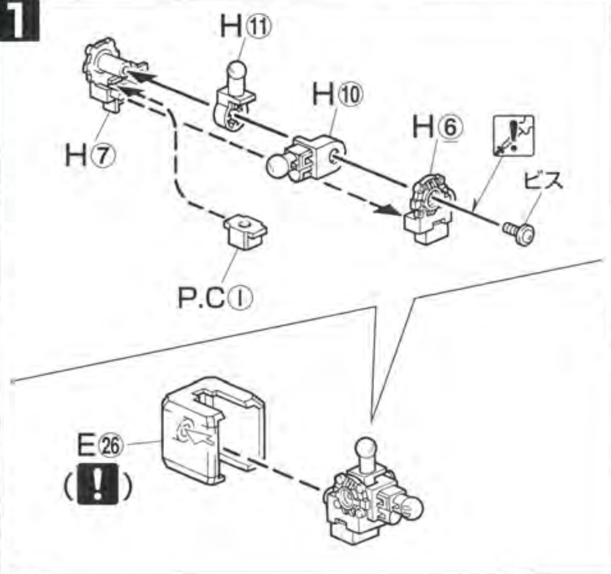
- ●本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ●小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ●ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- ●尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

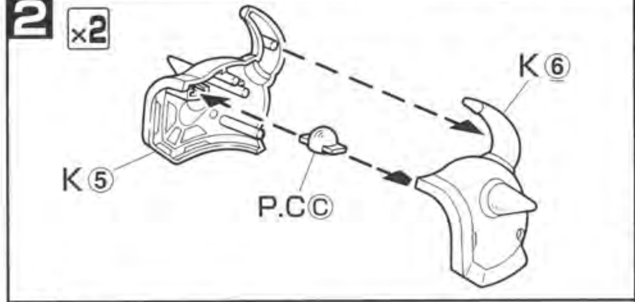
〈組み立てる時の注意〉

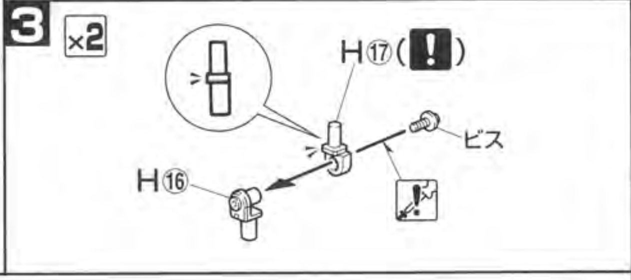
- ●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- ●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- ●部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- ●塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ●尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。
- ●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

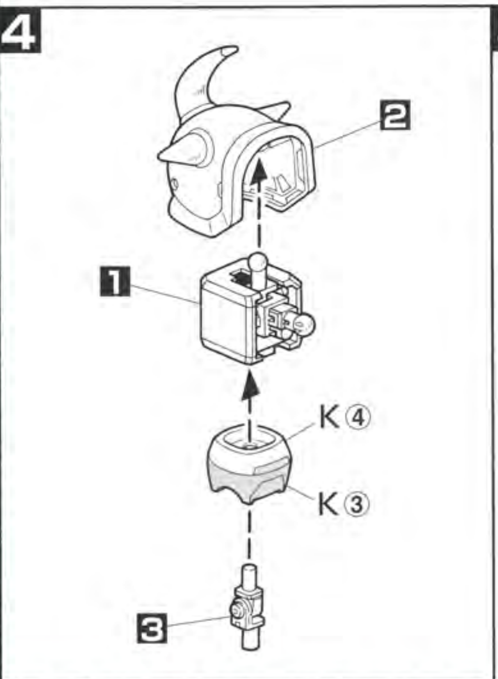
※このキットの組み立てには＋（プラス）ドライバーを使いますので別にご用意ください。

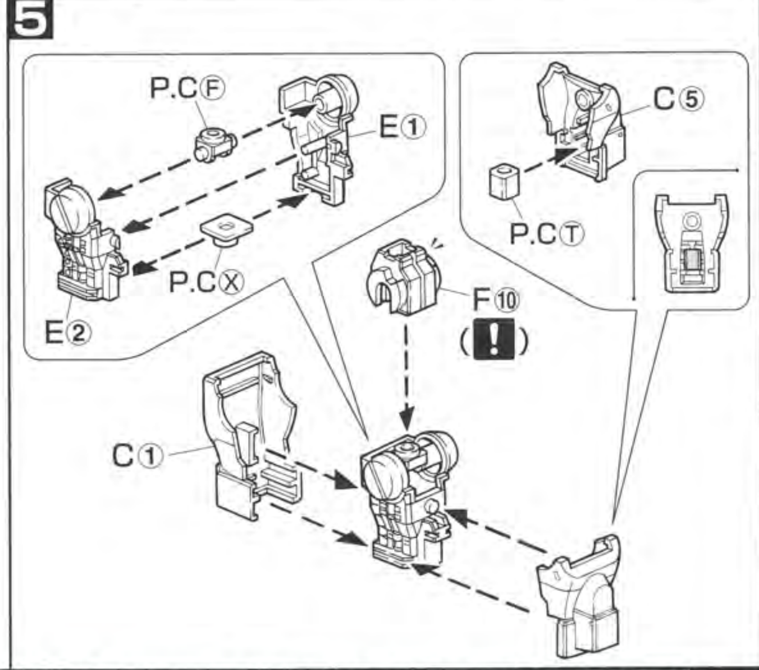
・接着をするところの線	㋐ ・シールの番号	Ⓐ ・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	! ・向きに注意して取り付ける	! ・ビスの締めすぎに注意
・切り取るところ	×2 ・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	180° ・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします



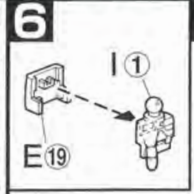




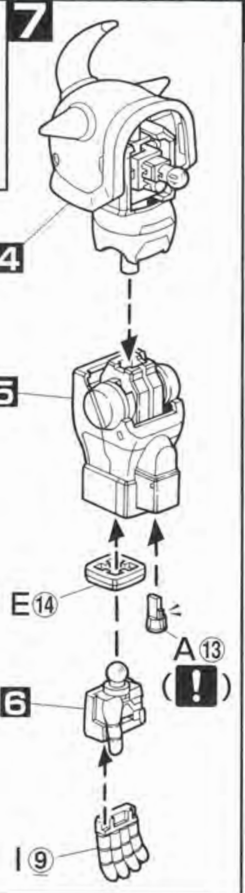




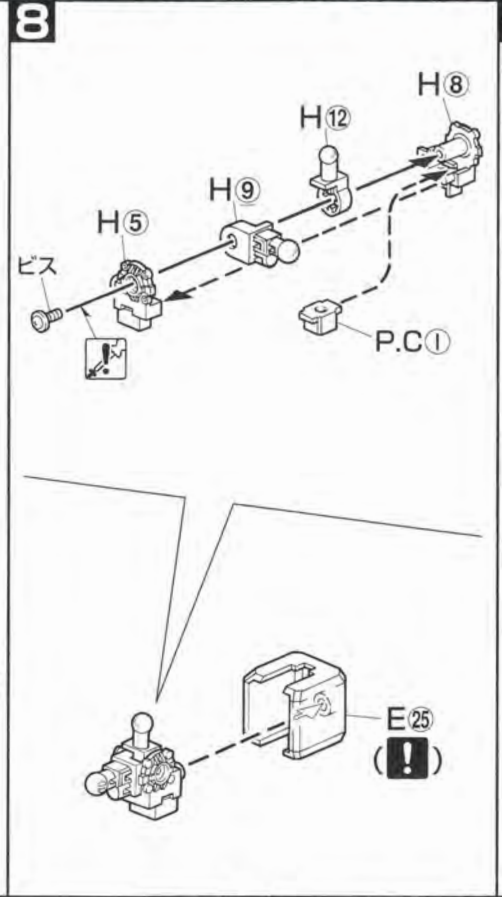
6



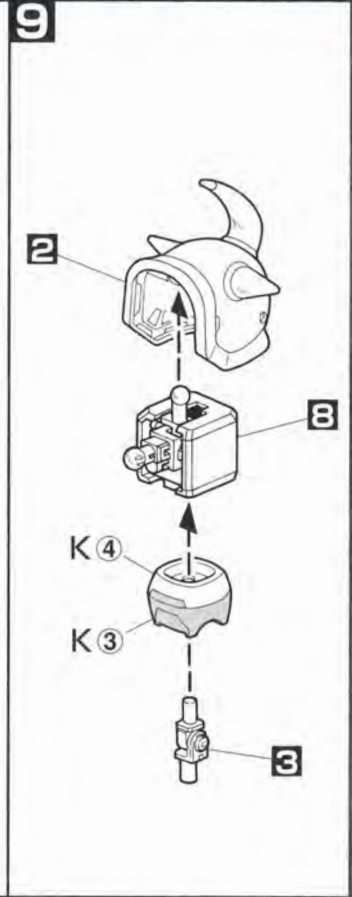
7



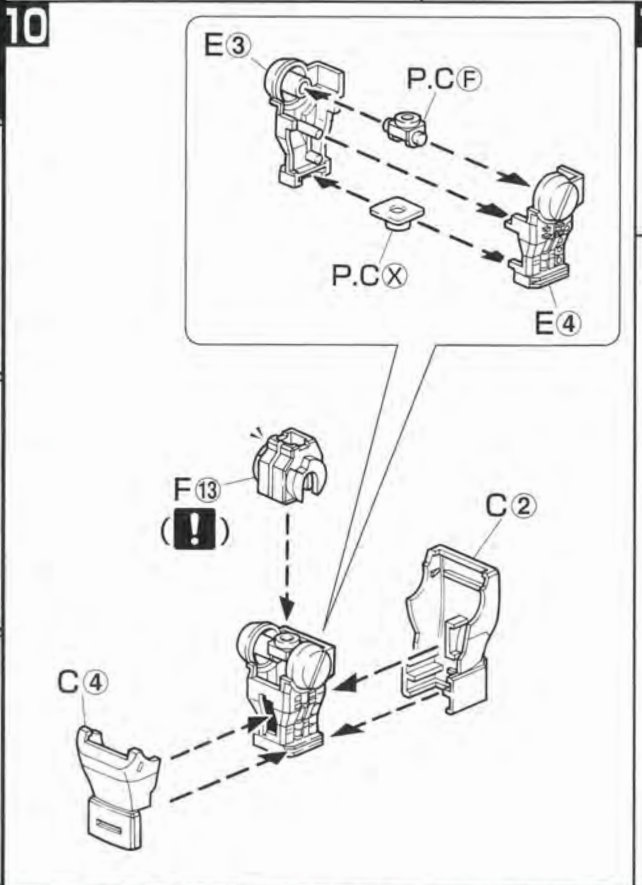
8



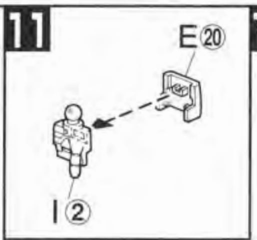
9



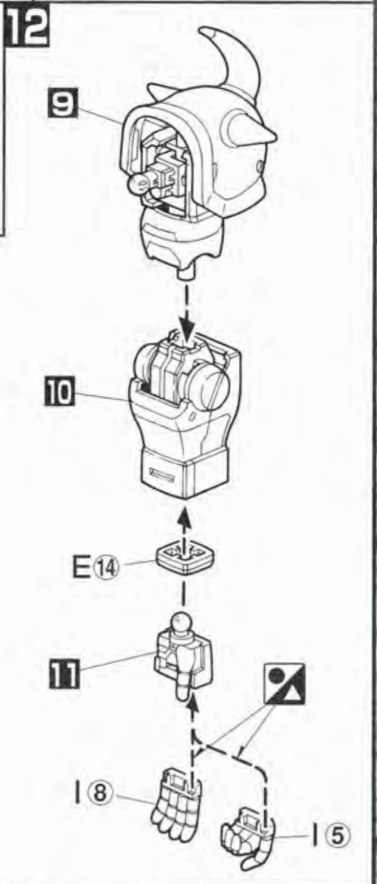
10



11

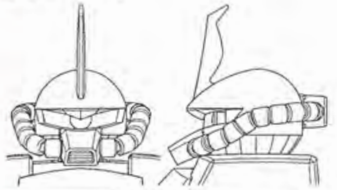


12

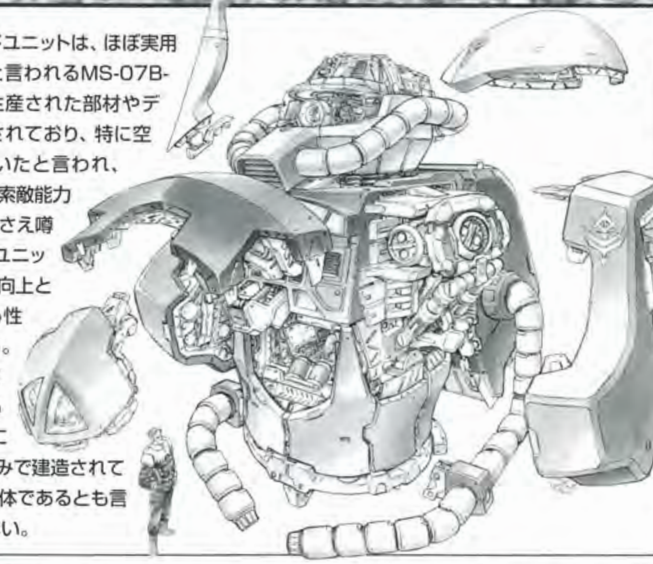


BODY UNIT

MS-07B-3のボディおよびヘッドユニットは、地球における量産機であるMS-07Bの各種機能や構造をさらに向上させ、各種センサーの精度や空中戦に対応したデバイスや軽量高出力のジェネレーターなどを備える完成度の高いユニットとなっている。



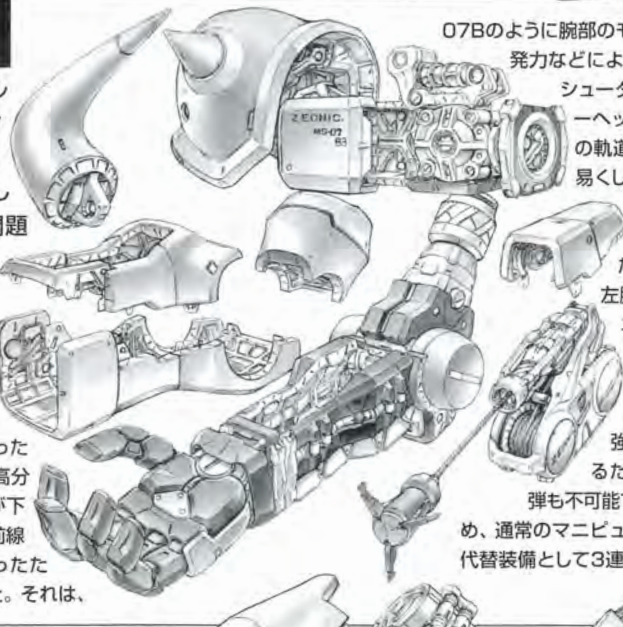
MS-07B-3のヘッドユニットは、ほぼ実用レベルに達していたと言われるMS-07B-3用にジオン本国で生産された部材やデバイスが数多く実装されており、特に空間把握能力に優れていたと言われ、高所より俯瞰した際の索敵能力は偵察機なみだったとさえ噂される。また、ボディユニットは、各パーツの品質向上と歩留まりの安定による性能強化を達成している。一説には、08系の技術導入を良しとしないジオニック社の技官により、同社の純製品のみで建造されているハイエンド的な機体であるとも言われるが、定かではない。



ARM UNIT

MS-07Bの腕部モジュールは、軽量化とノンオプションでの戦闘力を大幅に向上させる手段として固定武装を装備していたが、結果、汎用性に問題ありとされ、B3では改善策が講じられた。

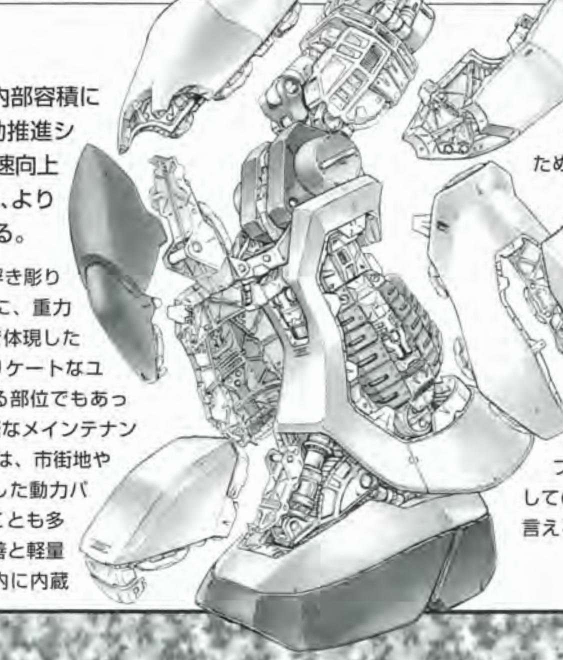
Bタイプグフの仕様は、右腕部にヒート・ロッドを、左腕部に5連装75mm機関砲を装備したものが多く、使いこなせれば手持ちのオプションより使い勝手がよい場合もあったという。ただし、ロッドを構成する高分子重合物は所期の予想ほどコストが下がらず、メインテナンスに関しても前線では対応しきれないとの報告もあったため、B3タイプでは仕様が変更された。それは、07Bのように腕部のモーメントと重合体そのものの反発力などによって放出するのではなく、ロッドシューターに射出機構を内装し、アンカーヘッドを装着することによってロッドの軌道やロック機構をコントロールし易くしたのである。さらに、ロッドそのものを小径化することで有効射程も延長され、扱いやすくなったと言われている。また、07Bの左腕部は機関砲を内装しており、マニピュレーターとしてはほとんど機能しなかったため汎用性が失われるという問題があった。また、その機関砲は火力としては強力であっても、弾倉が腕部にあるため装弾数が少なく、戦闘中の給弾も不可能であるという欠点も指摘されたため、通常のマニピュレーターに戻されることとなり、代替装備として3連装35mmガトリング砲を拡張兵装とすることとなった。



LEG UNIT

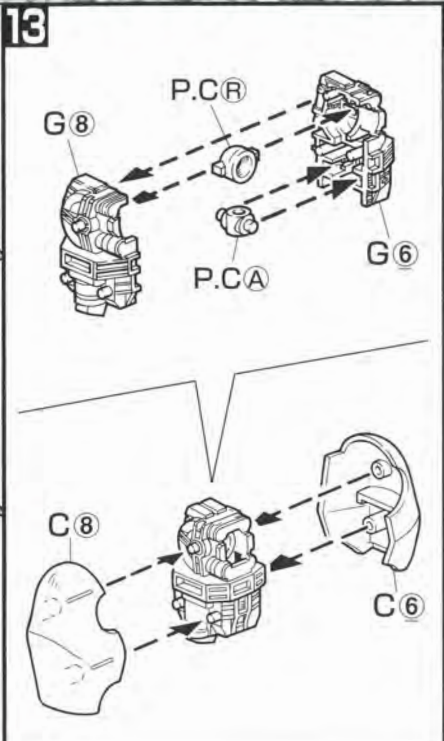
Bタイプグフは軽量化によって内部容積に余裕が生まれたため、脚部には補助推進システムが装備され、機動時の初期加速向上や短距離のジャンプが可能であり、より地上戦に適応した機体となっている。

“グフ”の脚部は、06J型の運用で浮き彫りにされた種々の問題を解決するとともに、重力下への適応をもっともストレートな形で体現した部位でもある。MSの脚部は、最もデリケートなユニットであると同時に、最も酷使される部位でもあった。そのため損耗率が異常に高く、頻繁なメインテナンスが必要とされた。特に06系の機体では、市街地や植生が濃密な領域などにおいて、露出した動力パイプが思わぬウィークポイントとなることも多かった。07系の機体は、内部構造の改善と軽量化によって脚部の動力経路は再び装甲内に内蔵されることとなり、また、膝関節にはそれらを保護するための構造も設けられた。さらに、走破性をより向上させるため、跳躍補助用のサブスラスターなども内装され、湿地帯や岩場などにおける走破性も格段に向上したのである。これらのスペックはB3グフこと“グフカスタム”でもほぼ同様で、多少跳躍高度が改善された程度である。すなわち、グフが完成した段階で、“歩行脚”としてのMSの脚部は完成していたとも言えるのである。

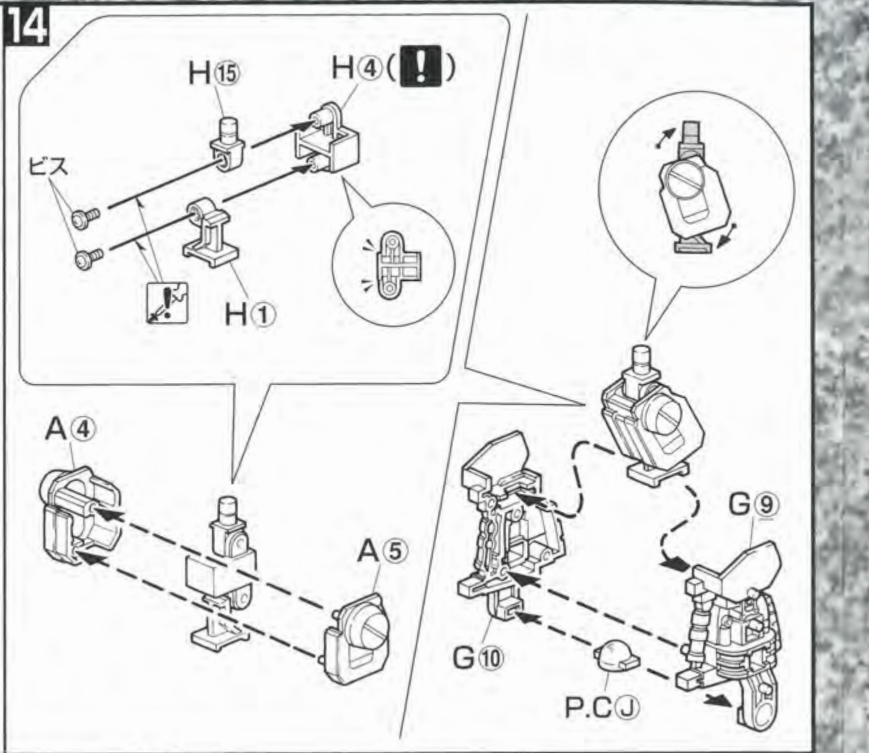


Mechanism illustration : BEE-CRAFT

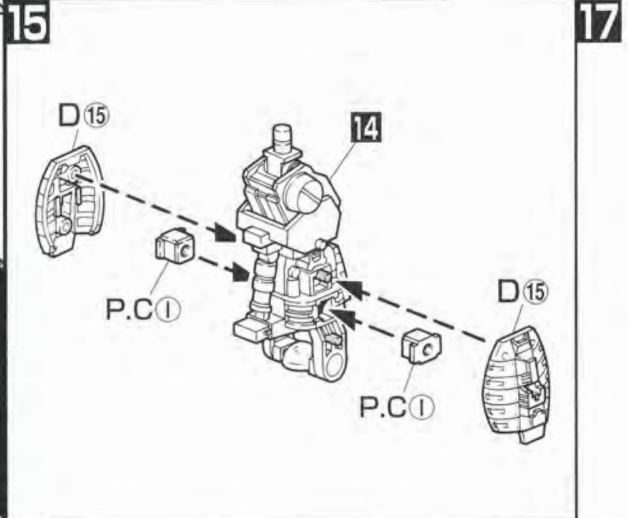
13



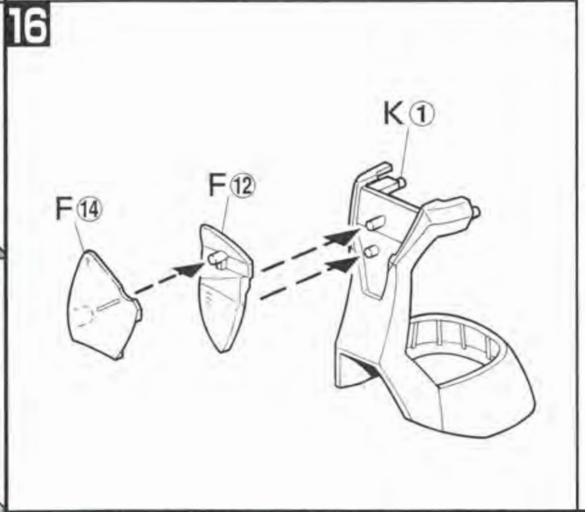
14



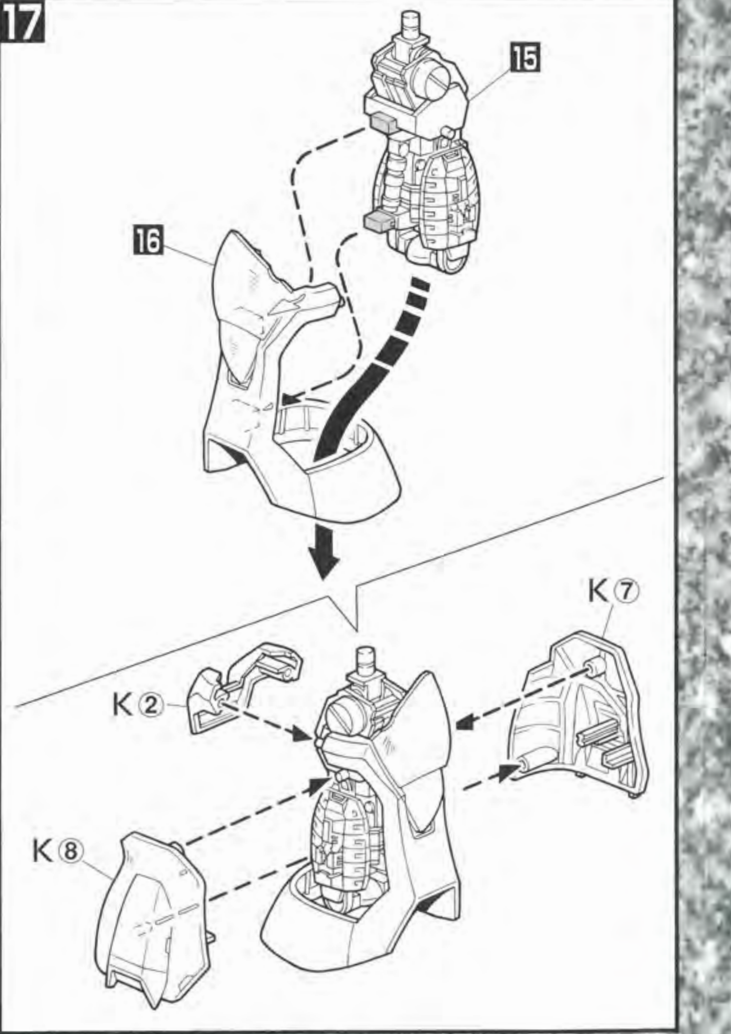
15



16

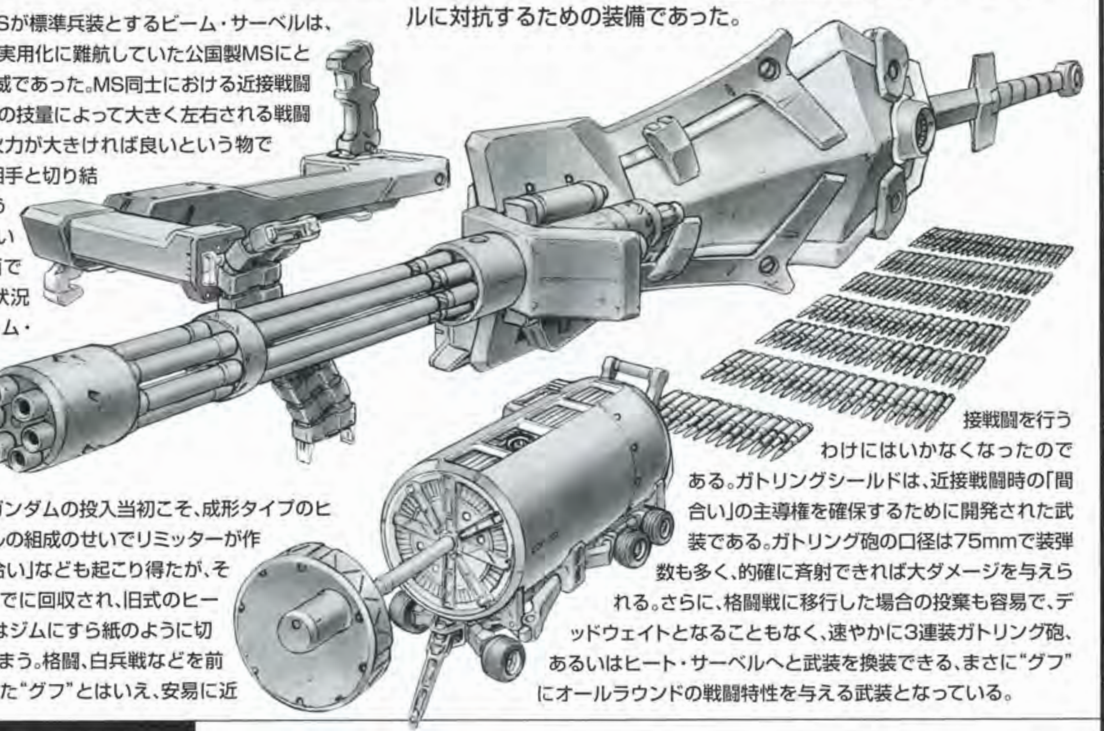


17



GATLING SHIELD

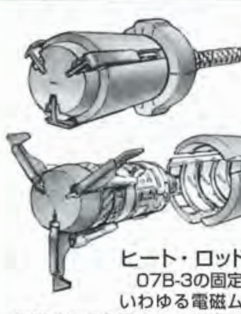
一年戦争後期に配備されたグフ系のいくつかの機体が装備するガトリングシールドは、連邦製MSの近接戦闘用武装であるビーム・サーベルに対抗するための装備であった。



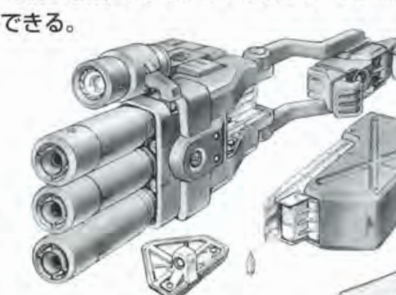
連邦製のMSが標準兵装とするビーム・サーベルは、ビーム兵器の実用化に難航していた公国製MSにとって大きな脅威であった。MS同士における近接戦闘は、パイロットの技量によって大きく左右される戦闘形態であり、火力が大きければ良いという物ではない。直接相手と切り結ぶなどというのは格闘においても最終局面であって、その状況においてビーム・サーベルとヒート・サーベルではスペックに差がありすぎる。ガンダムの投入当初こそ、成形タイプのヒート・サーベルの組成のせいでリミッターが作動した「鍔迫合い」なども起こり得たが、そのデータはすでに回収され、旧式のヒート・サーベルはジムにすら紙のように切り裂かれてしまう。格闘、白兵戦などを前提に開発された“グフ”とはいえ、安易に近接戦闘を行うわけにはいかなくなったのである。ガトリングシールドは、近接戦闘時の「間合い」の主導権を確保するために開発された武装である。ガトリング砲の口径は75mmで装弾数も多く、的確に斉射できれば大ダメージを与えられる。さらに、格闘戦に移行した場合の投棄も容易で、デッドウェイトとなることもなく、速やかに3連装ガトリング砲、あるいはヒート・サーベルへと武装を換装できる、まさに“グフ”にオールラウンドの戦闘特性を与える武装となっている。

WEAPONS

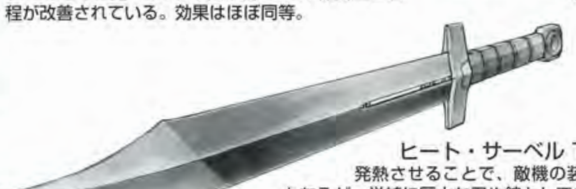
MS-07B-3は、07Bなどの実働データを解析し、戦闘能力はそのままに、対連邦製MSとしての性能をさらに向上させるべく、実験的な装備と確実性の高い実績のある武装の双方を合わせ持つ機体である。ある意味、非常に熟成および洗練された戦闘単位であると言うことができる。



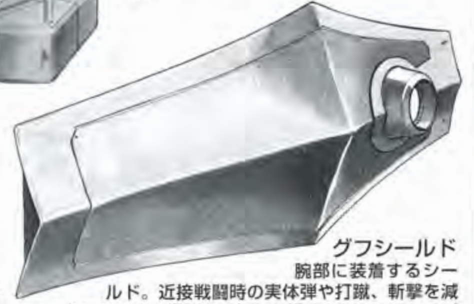
ヒート・ロッド（アンカータイプ）
07B-3の固定武装として採用されたいわゆる電磁ムチのバリエーション。07Bのものと比べロッドの径が細くなり、耐荷重と射程が改善されている。効果はほぼ同等。



3連装35mmガトリング砲
07B系の機体の標準武装として新たに開発されたガトリング機関砲。リスト部分に装着することで、内蔵式機関砲の最大のネックであった装弾数と汎用性の改善を果たした。



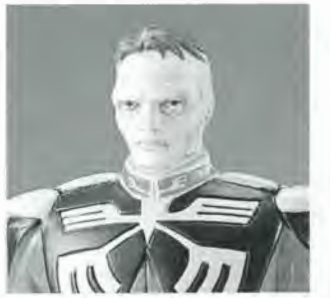
ヒート・サーベル Type-DⅢ
発熱させることで、敵機の装甲の切断なども可能となるが、単純に巨大な刀や鉈としても使用できる。瞬時にブレードを形成するタイプではなく、繰り返し使用できる。



グフシールド
腕部に装着するシールド。近接戦闘時の実体弾や打蹴、斬撃を減免するための機能を重視した構造となっており、ガトリング・シールドのシステムに対応している。

PILOT

NORRIS PACKARD「ノリス・パッカード」

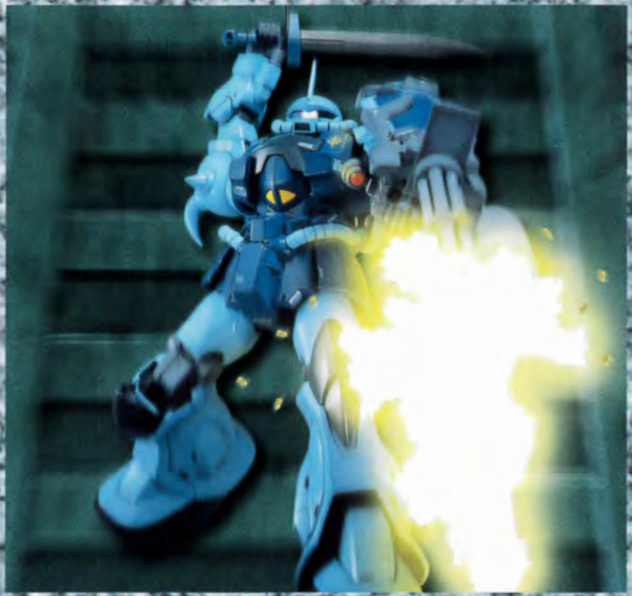


公国軍大佐。東南アジアの公国軍秘密基地司令ギニアス・サハリンの部下で、サハリン家に仕える古参の軍人。サハリン兄妹にとっては親代わり的な存在であり、軍務上もアイナの補佐役を務める。ザクでシローのガンダムと死闘を繰り広げ、連邦軍による秘密基地攻略にともなう攻防戦では、グフカスタムを駆って多数の連邦機を撃墜。山の形を変えるほどの物量作戦のために基地の放棄が決定してからは、兵たちの脱出艇となるザンジバル級ケルゲレンの航路を確保すべく、08小隊を翻弄して時間を稼ぐ。その目的をほぼ達成し、いま戦っているEz8を駆るシローがアイナの想い人であることを知った彼は、自らの人生に快哉を叫びながら戦場に散った。

FIGHT'S ON Documentary Photographs

ACE PILOT

U.C.0079年12月7日。アプサラスを開発する公国軍秘密基地の所在を突き止めた連邦軍は、ジェット・コア・ブースターの大編隊をもって基地とおぼしき山塊に絨毯爆撃を敢行。山容が変るほどの攻撃を続けながらも、内部への進入路を確保できずにいた。そんな中、サハリン家に忠誠を誓う公国軍大佐ノリス・パッカードは、ギニアスへの疑念を抱きつつ、アイナのため、兵らの脱出のための抗戦を続ける。「連邦にもコロニー生まれはおろうに……！」ジェット・コア・ブースターをまた一機墜としながら、ノリスはひとりつぶやいた……。



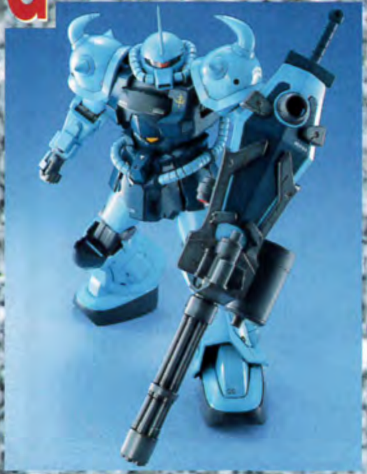
STREET FIGHTING

ケルゲレンの脱出ルートを確保すべく、最後の補給を受けたノリスは、グフカスタムを駆って単身、08小隊の前に立ちはだかった。廃墟と化した高層ビルから戦場を見下ろしたグフカスタムは、電光石火のごとく空を疾り、瞬く間に、基地を狙っていたガンタンクを葬り去る。「ひとぉーつ!!」カレンとサンダースは完全に手玉に取られていた。「あっと言う間に……、こいつは、撃墜王（エース）だ!!」愕然とする二人の眼前で、2機目のガンタンクがサーベルに貫かれていた。08小隊に戦慄が走る!!はたして……!?

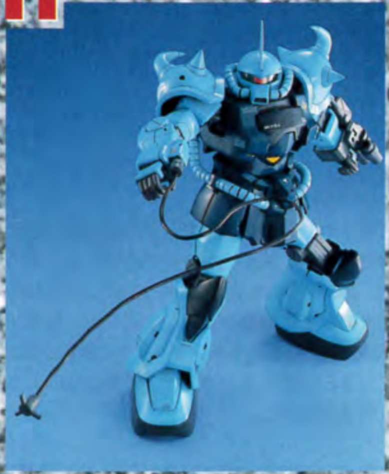
YELL WITH DELIGHT

不慣れな市街戦に翻弄される08小隊。グフカスタムは、ビルの谷間や町並、高架など、あらゆる地形を利用してシローのEz8を追い詰める。度重なる攻撃に満身創痍のシローは、思わず知らず、アイナへの想いを叫んでいた。シローをアイナの想い人と知ったノリスは、満ち足りながら最後の一撃を繰り出す。「面白い人生であった……。だが…、負けぬ！」シローはグフカスタムにビーム・サーベルで斬りかかるが、グフカスタムの銃口は、ケルゲレン脱出の障害となる最後のガンタンクに向けられていた。「勝ったぞ!!」ノリスの絶叫と共に、グフカスタムはEz8に両断されていた。と同時に、シローたちが守るべき最後のガンタンクも屠られていた。……敵は倒した。しかしシローは、自らの完敗を痛感していた。

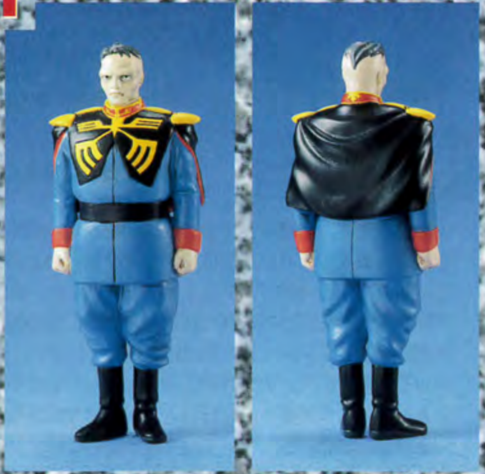
GATLING SHIELD



HEAT ROD



Pilot NORRIS PACKARD

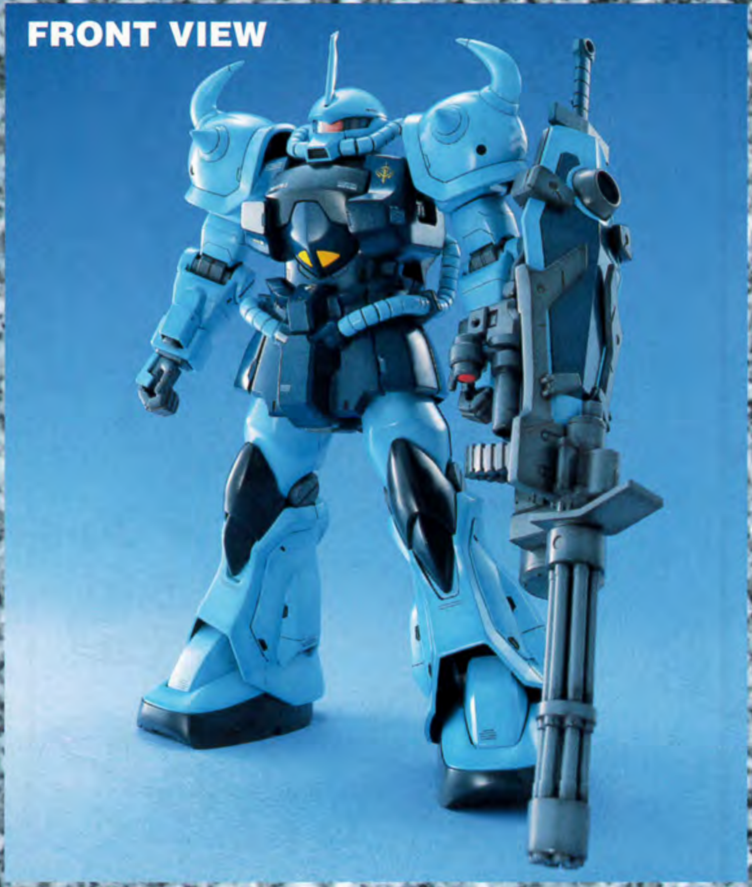


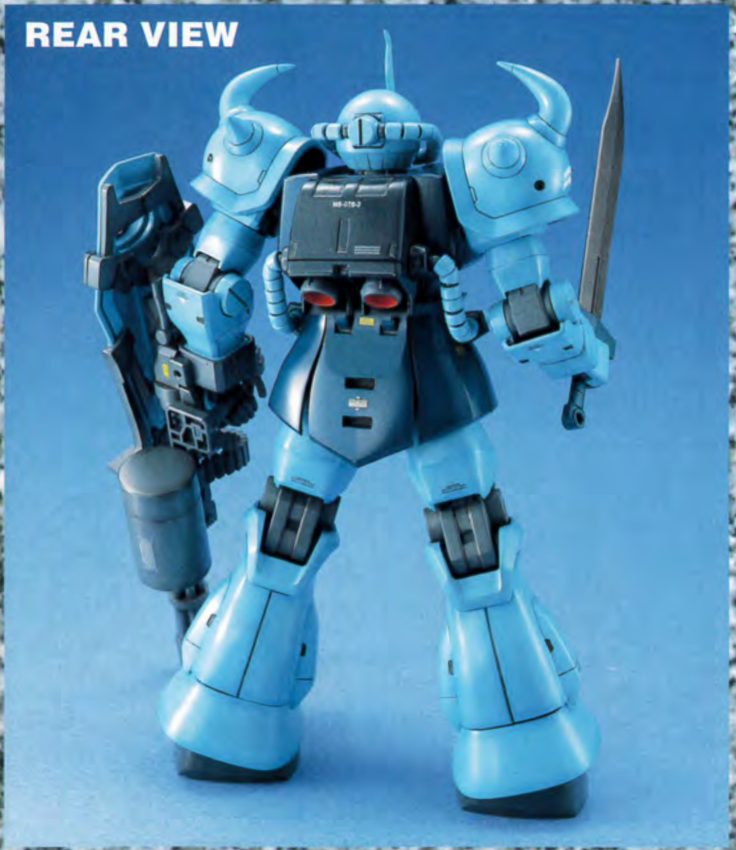
PAINTING

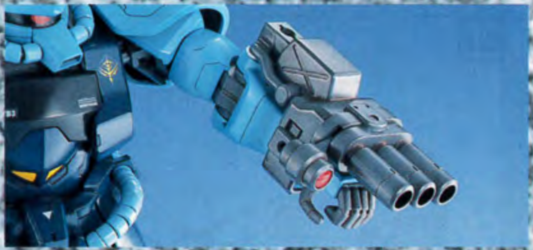
※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

- ●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。
- ●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

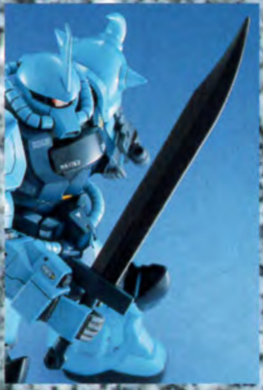
🟦	頭、腕などの塗装色。 ホワイト(80%)+コバルトブルー(10%)+インディーブルー(10%)+レッド少量 ※またはガンダムカラー ブルー15
🟦	ボディー、スカートなどの塗装色。 インディーブルー(70%)+デイトナグリーン（30%） ※またはガンダムカラー ブルー16
⬛	足底、ヒザなどの塗装色。 ミッドナイトブルー(70%)+ニュートラルグレー(15%)+ブルー(15%) ※またはガンダムカラー ファントムグレー
🟦	インナーフレーム、ガトリングの塗装色。 ニュートラルグレー(70%)+ミッドナイトブルー(30%)+インディーブルー少量+モンザレッド少量
⬛	ヒート・サーベルの塗装色。 黒鉄色（100%）
🟨	腹部パネルの塗装色。 オレンジイエロー（100%） ※またはガンダムカラー イエロー2
🟥	カメラ部の塗装色。 クリアーレッド（100%）
🟥	バーニア内部の塗装色。 モンザレッド（100%） ※またはガンダムカラー レッド3



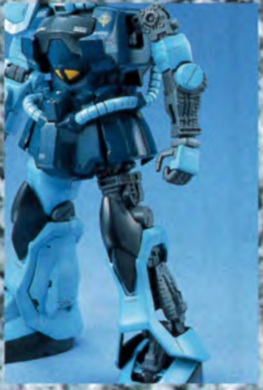




▲左腕には、ディテールを追求した3連装35mmガトリング砲を装着。



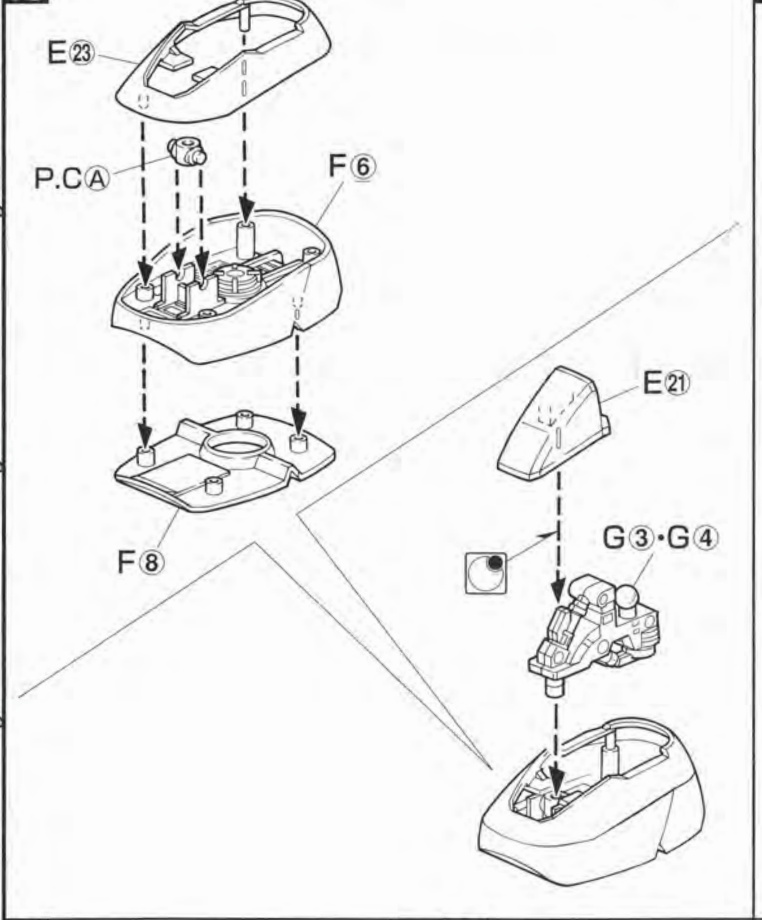
▲ヒート・サーベルはガトリングシールドより脱着可能。



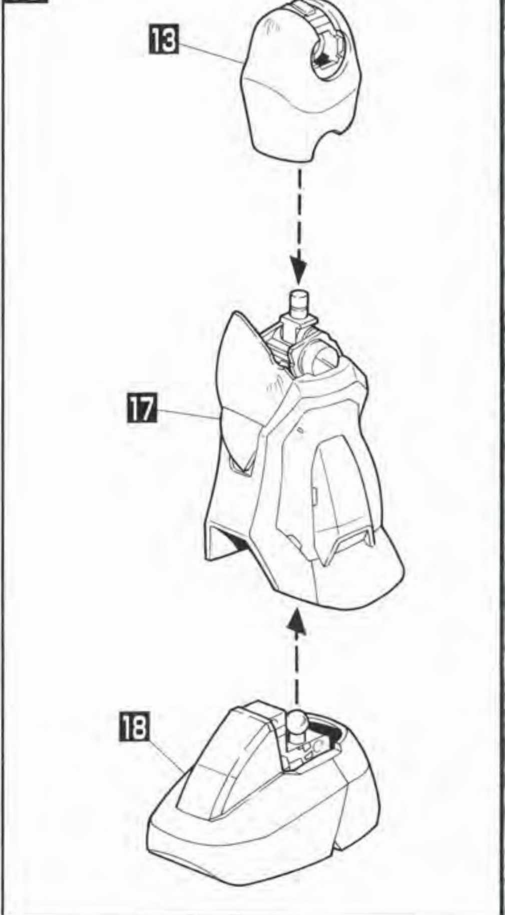
▲腕・脚部装甲は、脱着可能。内部メカニックをリアルに再現。

Parts name of MS-07B-3 GOUF CUSTOM
Parts List
Body Unit
Arm Unit
Leg Unit
Weapons
FinalAssemble

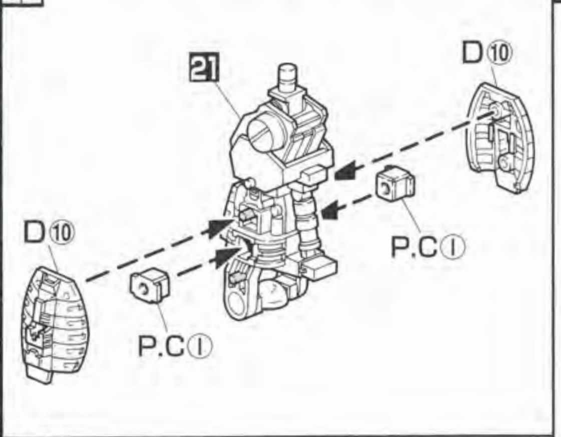
18


E㉓
P.CⒶ
F⑥
F⑧
E㉑
G③·G④

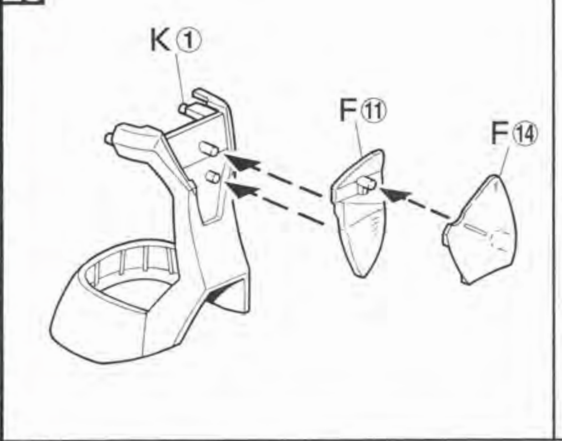
19



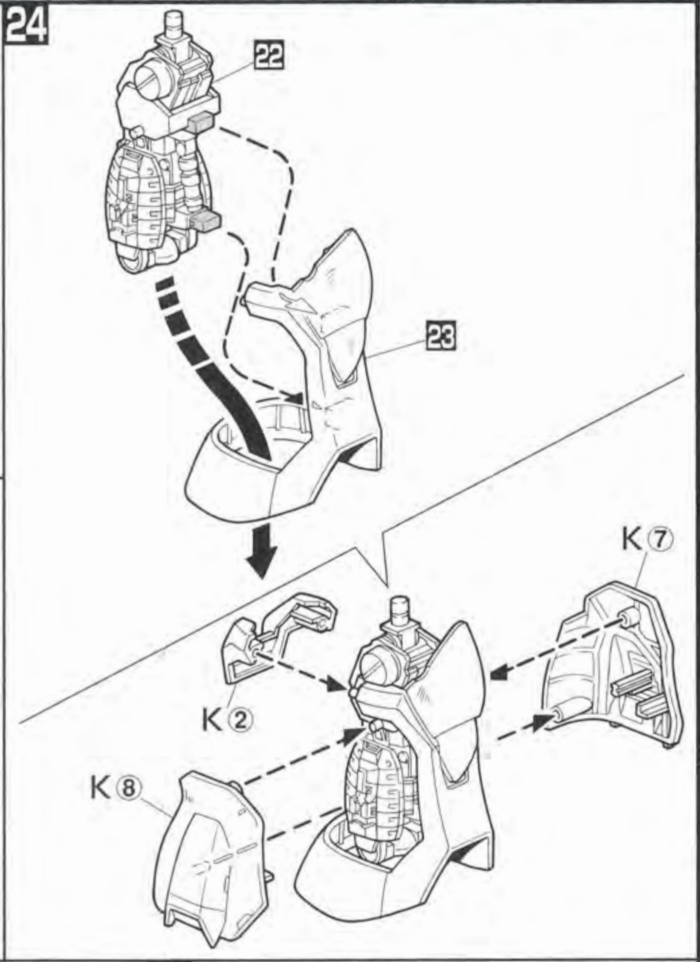
22


21
D⑩
D⑩
P.CⒾ
P.CⒾ

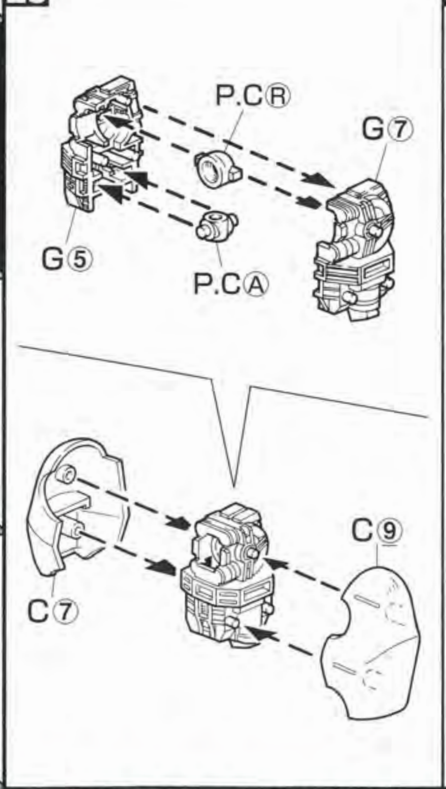
23



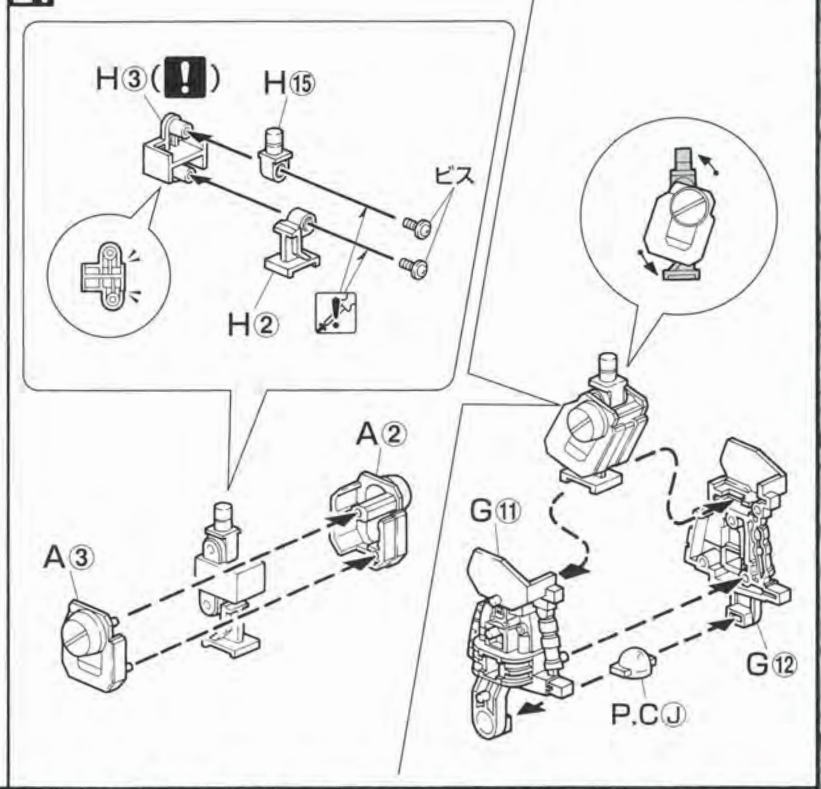
24


22
23
K⑦
K②
K⑧

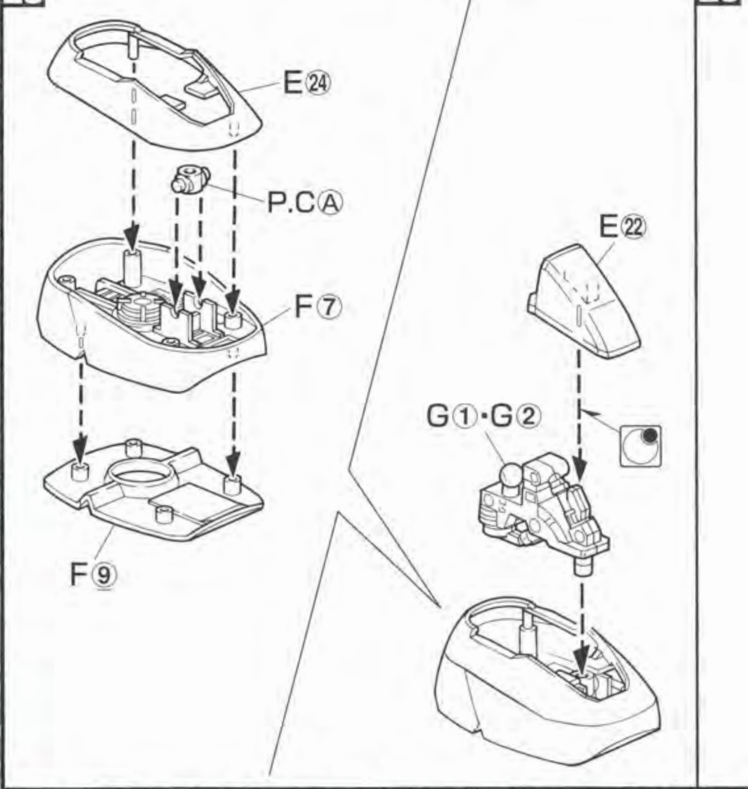
20


P.CⓇ
G⑦
G⑤
P.CⒶ
C⑨
C⑦

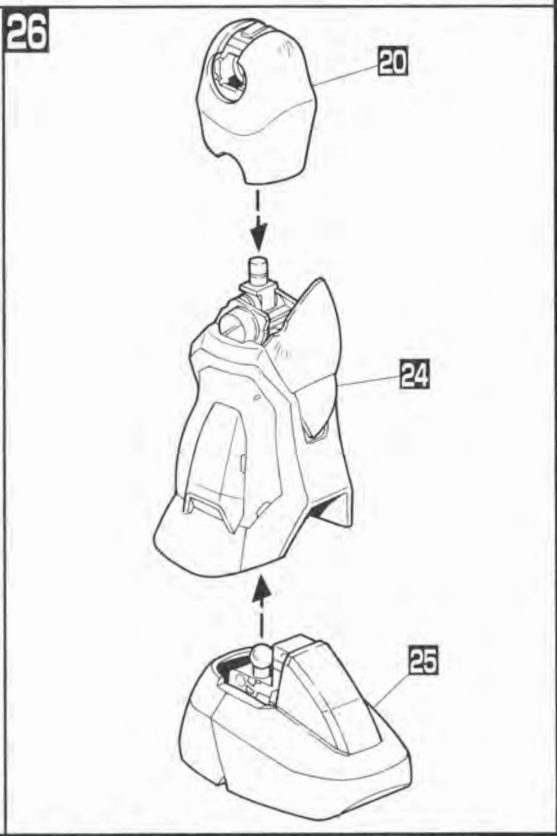
21


H③(!)
H⑮
ビス
H②
A②
A③
G⑪
G⑫
P.CⒿ

25

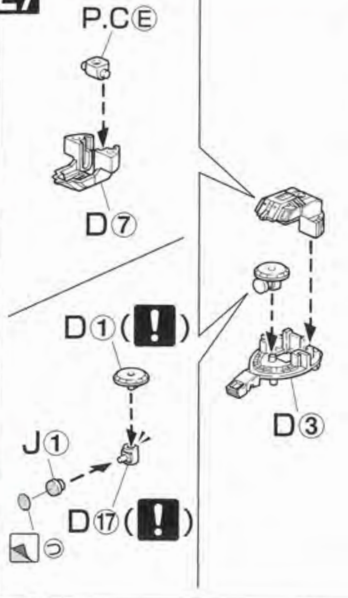

E㉔
P.CⒶ
F⑦
F⑨
E㉒
G①·G②

26

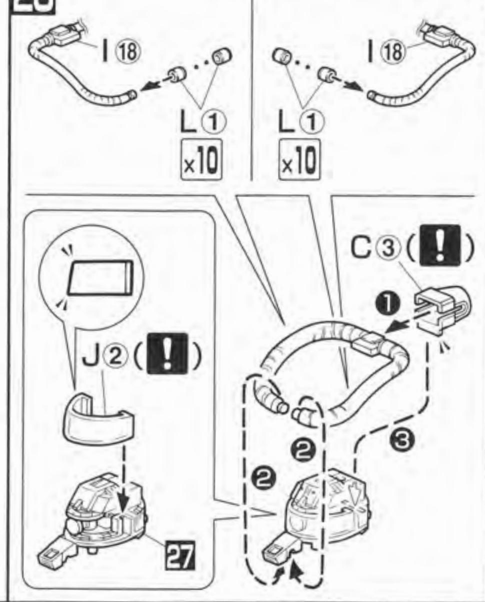


Parts name of MS-07B-3 GOUF CUSTOM
Parts List
Body Unit
Arm Unit
Leg Unit
Weapons
FinalAssemble

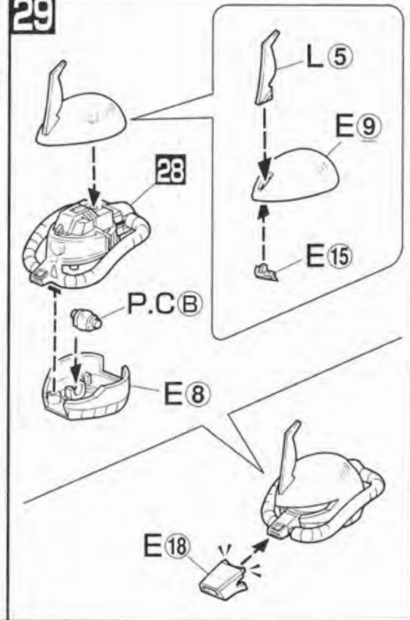
27


P.CⒺ
D⑦
D①(!)
J①
D⑰(!)
D③

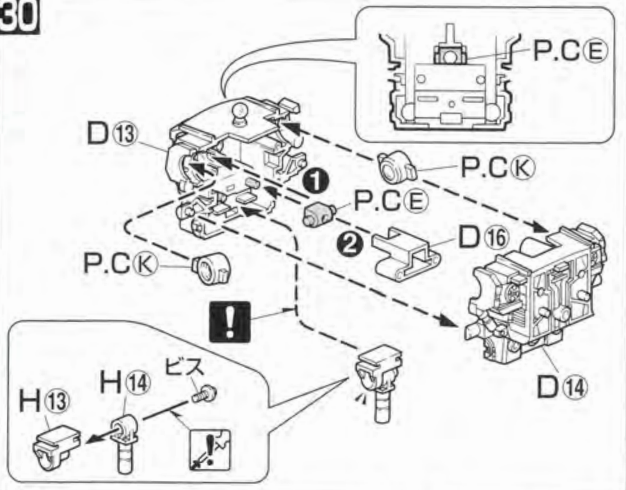
28


I⑱
L①
x10
I⑱
L①
x10
C③(!)
❶
J②(!)
27
❷
❷
❸

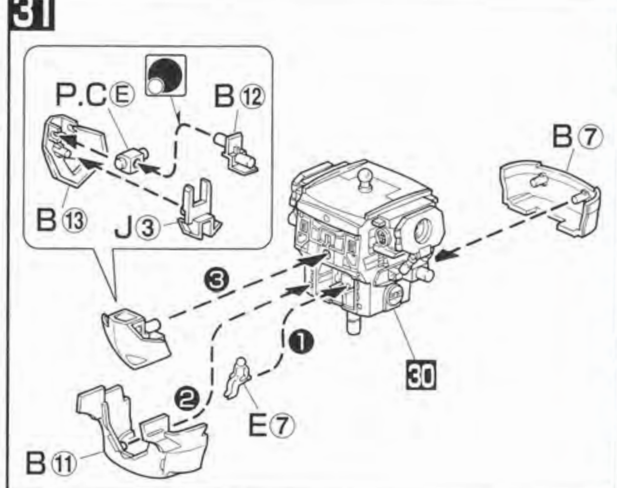
29


L⑤
E⑨
E⑮
28
P.CⒷ
E⑧
E⑱

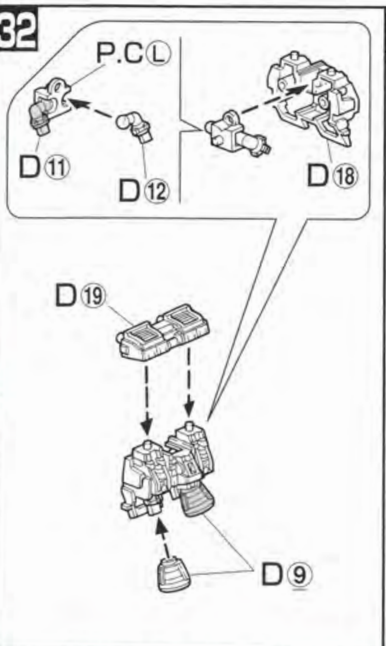
30


P.CⒺ
D⑬
P.CⓀ
❶
P.CⒺ
❷
D⑯
P.CⓀ
!
D⑭
ビス
H⑬
H⑭

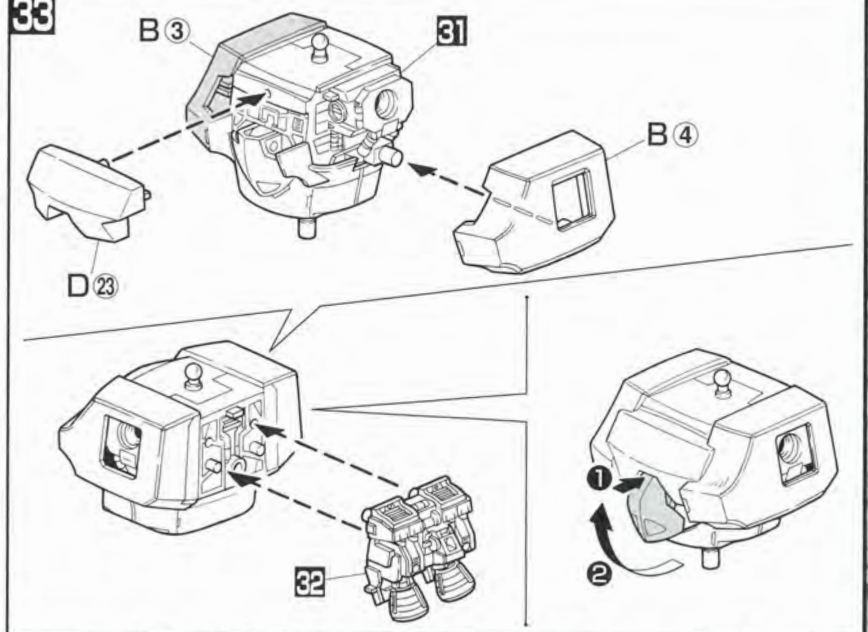
31


P.CⒺ
B⑫
B⑬
J③
B⑦
❸
❶
30
❷
E⑦
B⑪

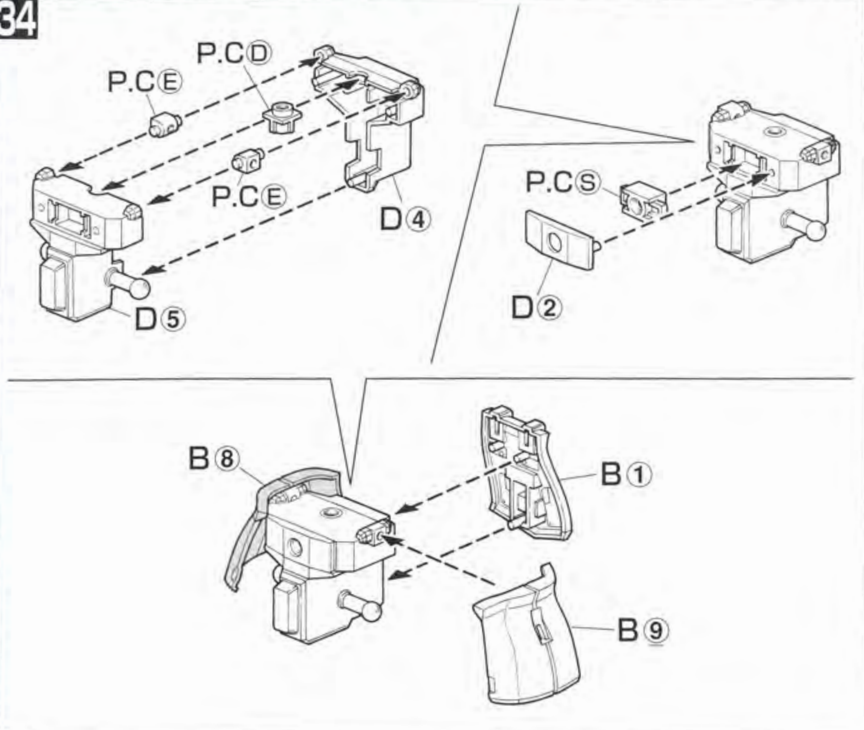
32


P.CⓁ
D⑪
D⑫
D⑱
D⑲
D⑨

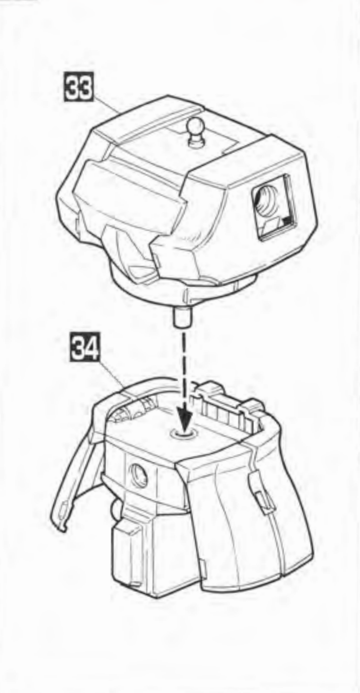
33


B③
31
B④
D㉓
32
❶
❷

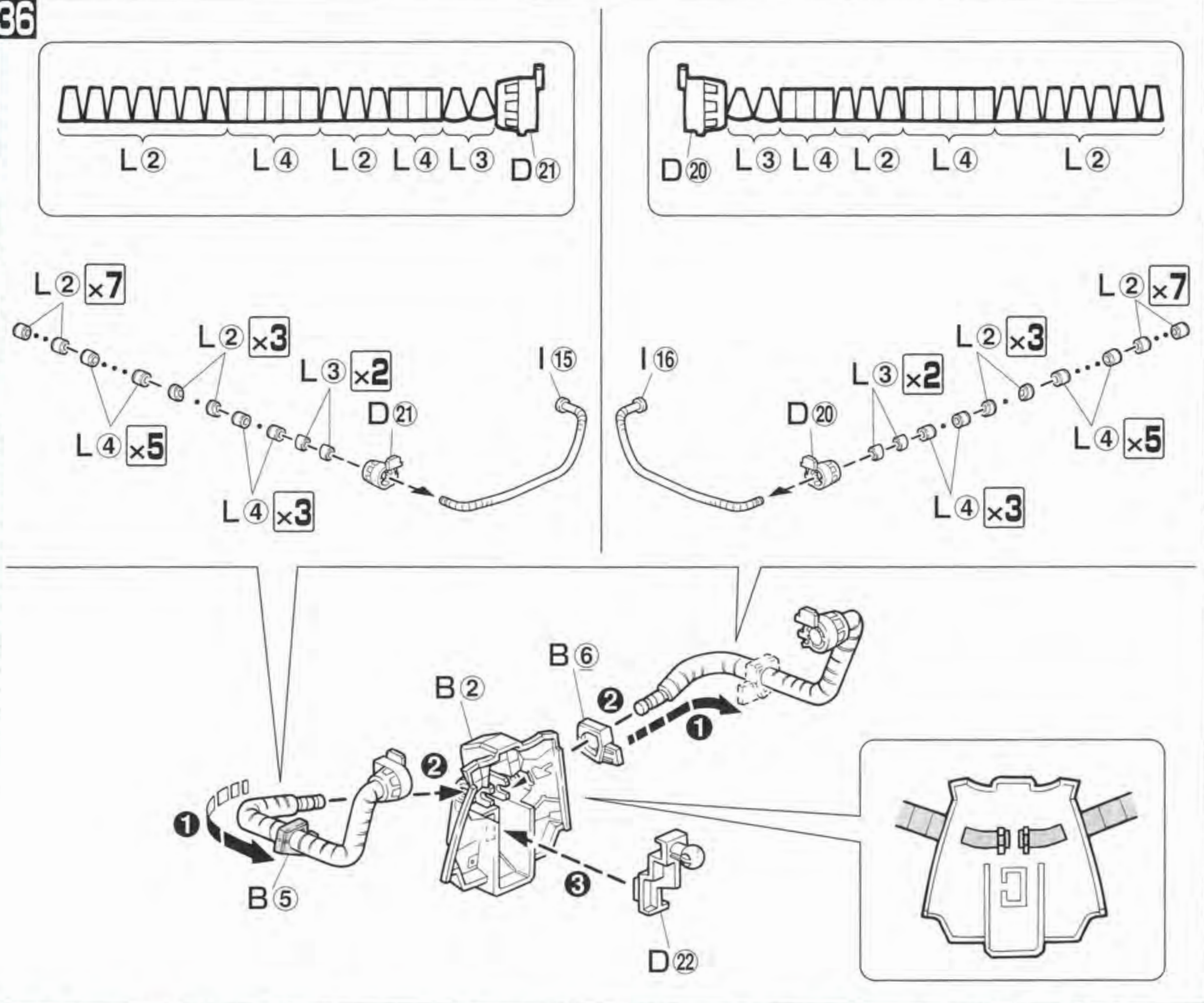
34


P.CⒺ
P.CⒹ
P.CⒺ
D④
D⑤
P.CⓈ
D②
B⑧
B①
B⑨

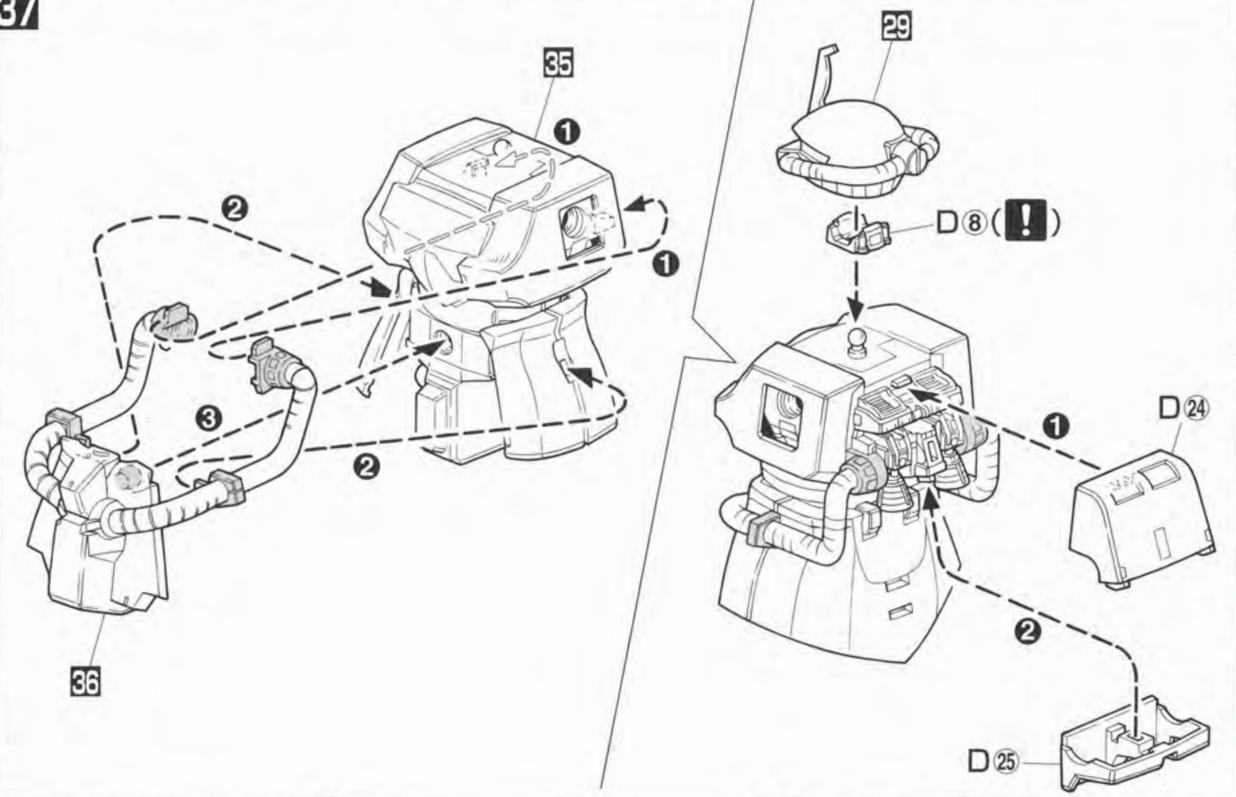
35



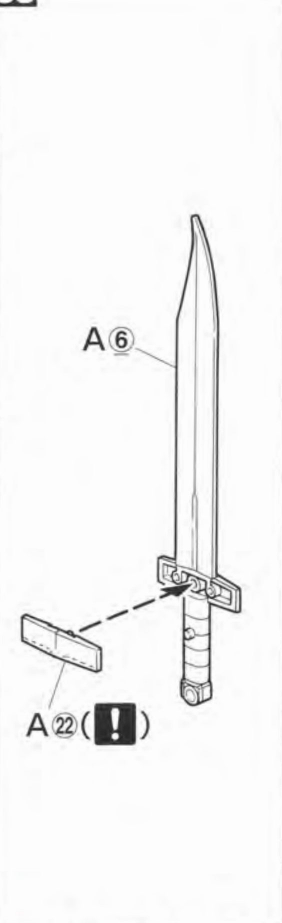
36


L②
L④
L②
L④
L③
D㉑
D⑳
L③
L④
L②
L④
L②
L②x7
L②x3
L③x2
I⑮
L④x5
D㉑
L④x3
I⑯
L③x2
L②x3
L②x7
D⑳
L④x5
L④x3
B⑥
❷
❶
B②
❷
❶
B⑤
❸
D㉒

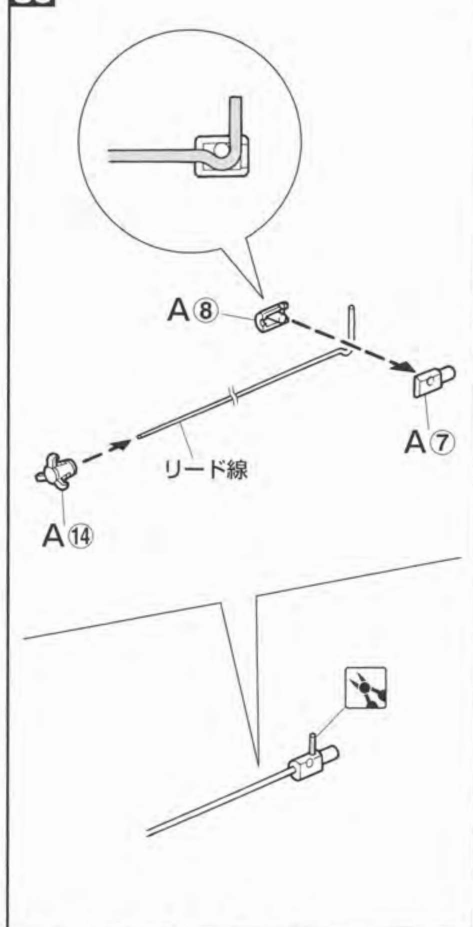
37


35
❶
❷
❶
❸
❷
36
29
D⑧(!)
❶
D㉔
❷
D㉕

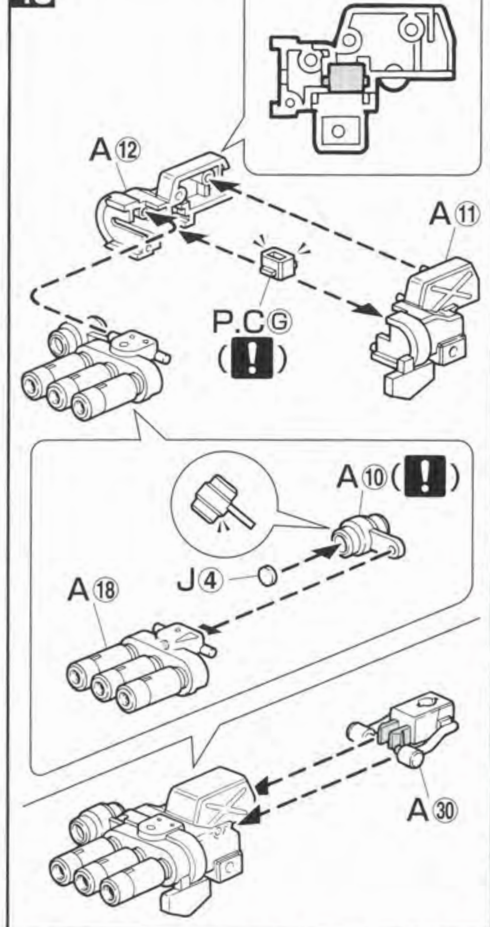
38



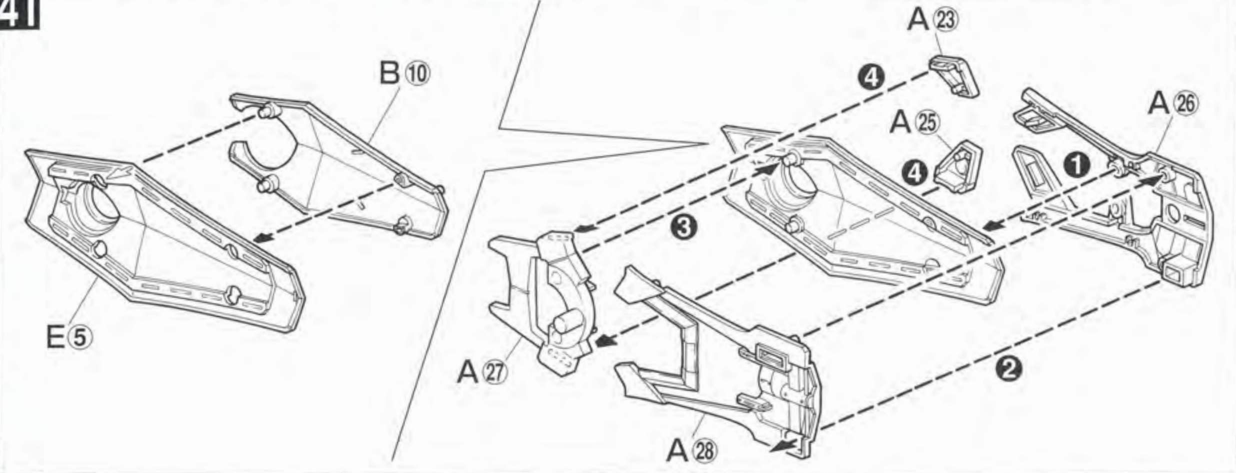
39


A⑧
A⑦
A⑭
リード線

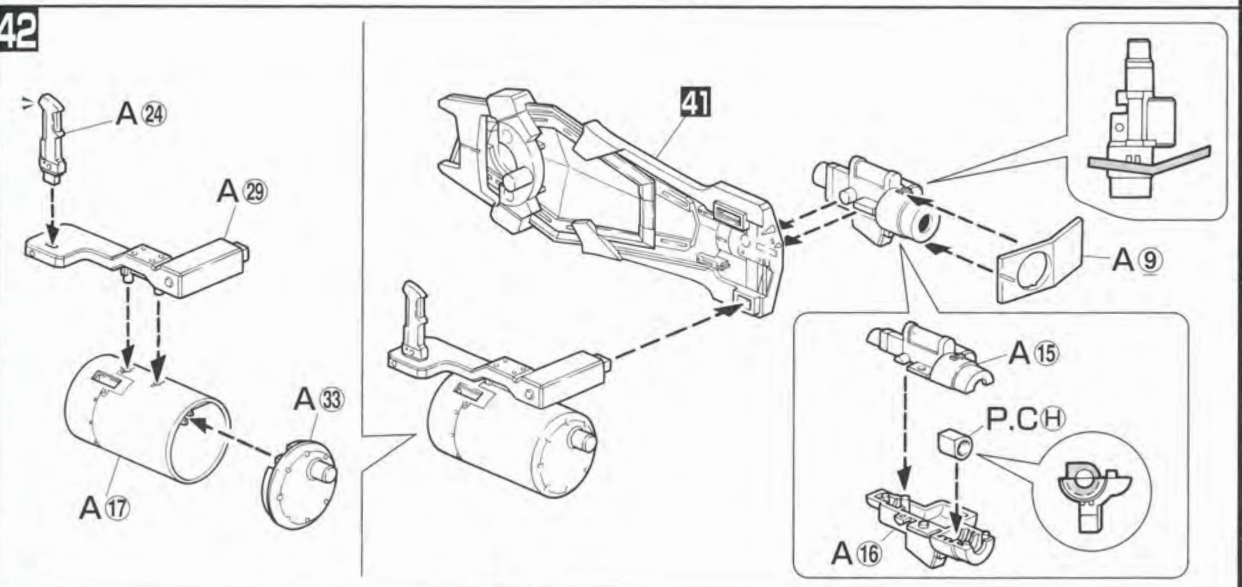
40


A⑫
A⑪
P.CⒼ
(!)
A⑩(!)
J④
A⑱
A㉚

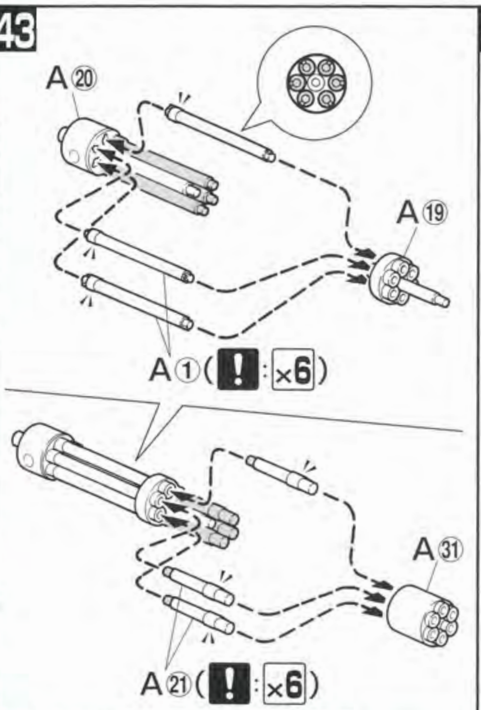
41


B⑩
E⑤
A㉓
❹
A㉕
❹
A㉖
❶
❸
A㉗
❷
A㉘

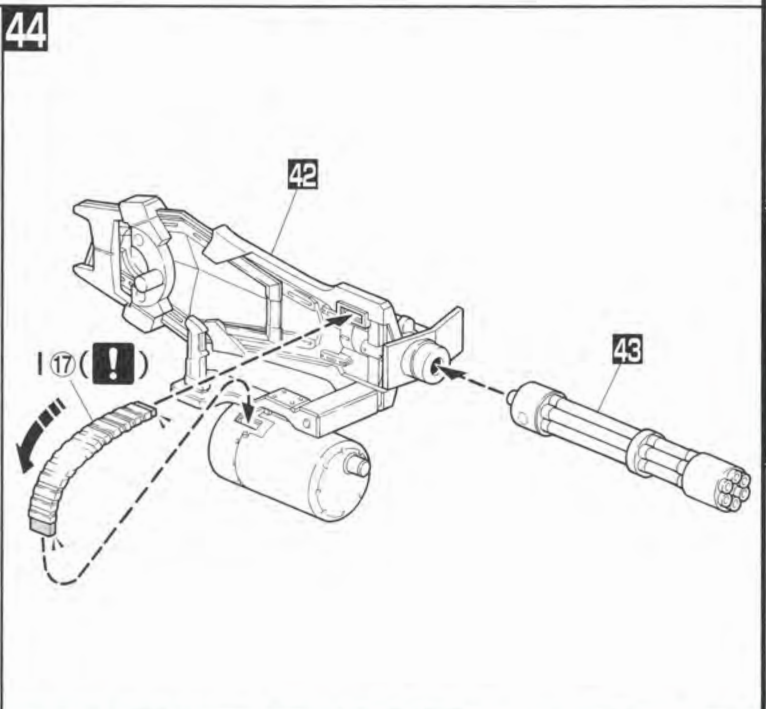
42


A㉔
A㉙
A㉝
A⑰
41
A⑨
A⑮
P.CⒽ
A⑯

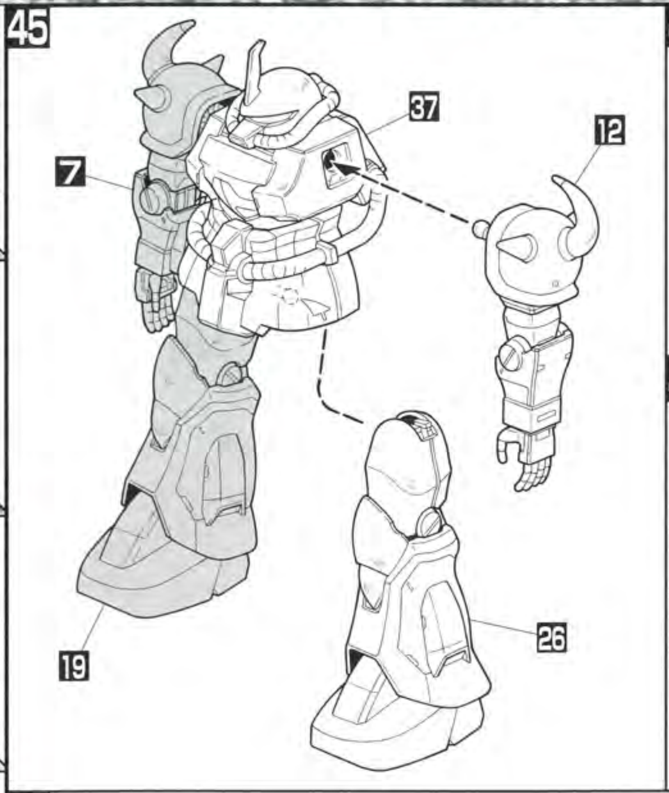
43


A⑳
A⑲
A①(!:×6)
A㉛
A㉑(!:×6)

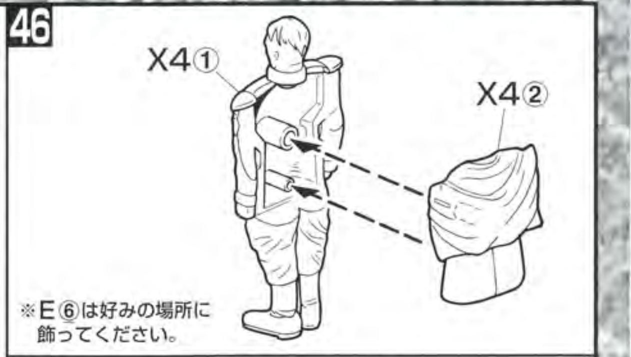
44



45

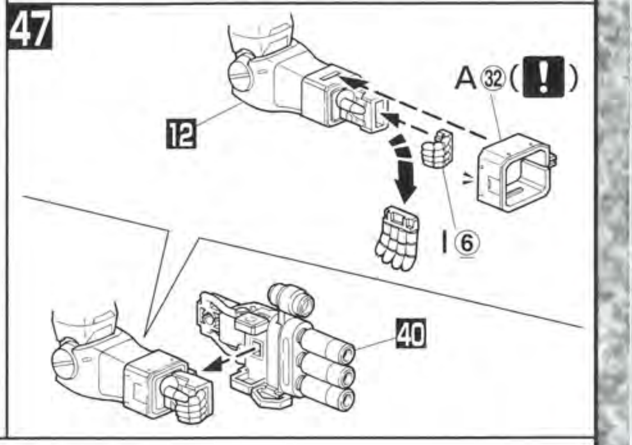


46

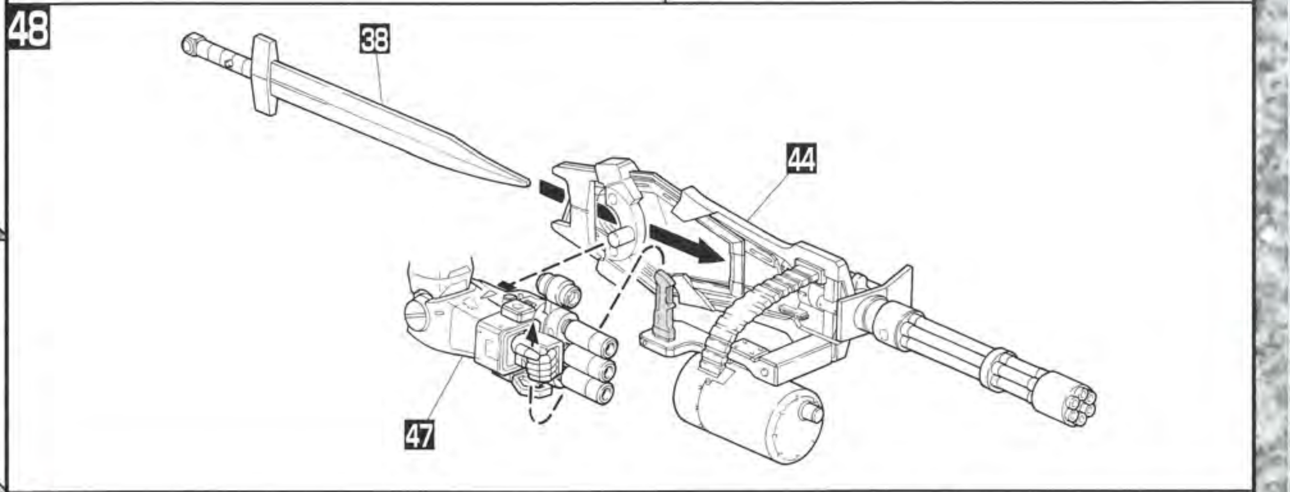


※E⑥は好みの場所に飾ってください。

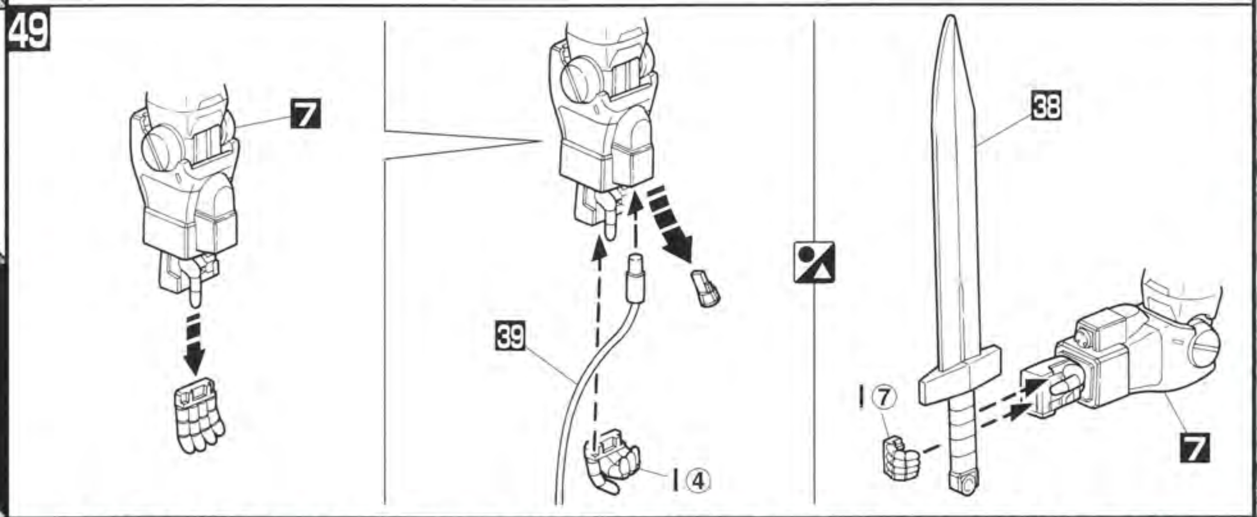
47



48



49

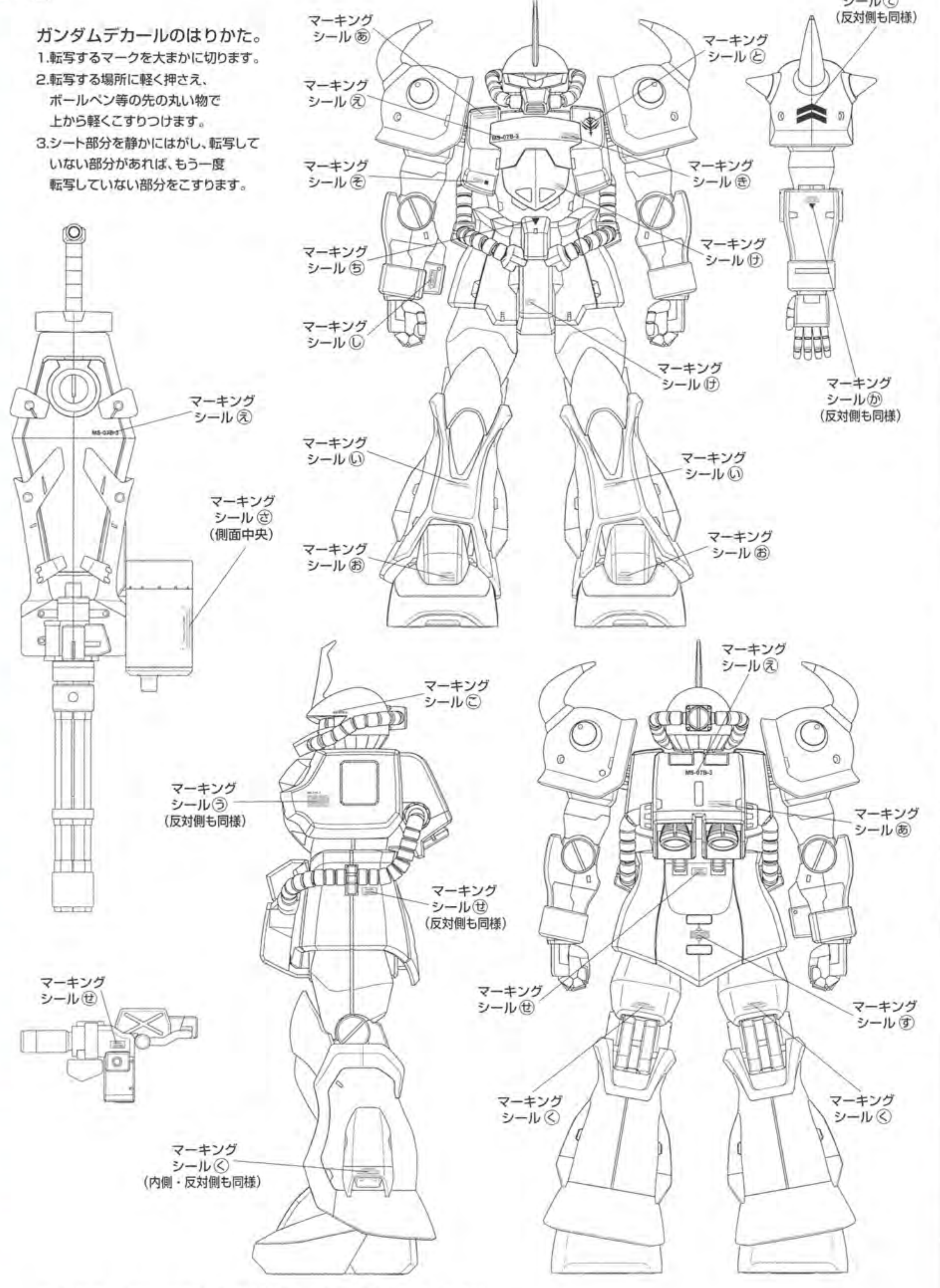

7
39
I④
38
I⑦
7

Seal
〈シール〉

下の図を見て、ガンダムデカールやシールのはる位置を確認してください。

ガンダムデカールのはりかた。

1.転写するマークを大まかに切ります。
2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。


マーキング シール㋐
マーキング シール㋓
マーキング シール㋞
マーキング シール㋠
マーキング シール㋛
マーキング シール㋣
マーキング シール㋖
マーキング シール㋘
マーキング シール㋘
マーキング シール㋢ (反対側も同様)
マーキング シール㋕ (反対側も同様)
マーキング シール㋓
マーキング シール㋚ (側面中央)
マーキング シール㋑
マーキング シール㋑
マーキング シール㋔
マーキング シール㋔
マーキング シール㋙
マーキング シール㋒ (反対側も同様)
マーキング シール㋝ (反対側も同様)
マーキング シール㋝
マーキング シール㋗ (内側・反対側も同様)
マーキング シール㋓
マーキング シール㋐
マーキング シール㋝
マーキング シール㋜
マーキング シール㋗
マーキング シール㋗

※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。